

第七十五回  
帝國議會貴族院

# 所得稅法改正法律案特別委員會議事速記錄第四號

昭和十五年三月二十二日(金曜日)午前十時十七分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ所得稅法改正法律案外三十六件ノ特別委員會ヲ開

會致シマス、通告順ニ御願ヒシタイノデスガ、マダ御見エニナツテ居マセヌカラ、ドナタデモ此ノ際……

○子爵大河内輝耕君 今朝材料ヲ頂戴致シマシテ有難ウゴザイマス、主税局長ニ伺ヒマスガ、此ノ特別法人稅ノ附加稅率ノコトヲ此處へ御記シ下ス<sup>タ</sup>大變能ク分<sup>タ</sup>居リマスガ、是ハ稅額ハドノ位ニナリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 今ノ御質疑ノ點ハ、特別法人稅ノ附加稅率ノ分ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、產業組合等ノ特別ノ法人ガ、附加稅ニ依<sup>タ</sup>ドレダケノ稅ノ免稅ヲ受ケルカト云フ御趣旨ノ御尋デゴザイマセウカ

○子爵大河内輝耕君 其ノ稅額ノ數字ヲ伺<sup>タ</sup>ス

○政府委員(大矢半次郎君) 實ハ今ノ御尋ノ數字ハ手許ニ持合セテ居リマセヌ

○子爵大河内輝耕君 ソレデヤ後ニ御調ノ上御願ヒ致シマス、ソレカラ尙此ノ間、免稅ノコトデシタカ數字ヲ一ツ御願ヒシテ置キマシタガ、ソレハマダ出來マセヌデセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 今資料配付手續中デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマスト地租、家屋稅、營業稅ノコトモ、是モマダ數字ハ

○政府委員(大矢半次郎君) 是モ今御配付ノ手續中デアリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ私はデ宜シウゴザイマス

○橋本辰二郎君 私ハ法人ノ稅金ヲ經費ト看做サヌト云フコトニ付キマシテ、モウ一  
點確カヌテ置キタイト思ヒマス、一般ニハ

丁度改正法ニ依<sup>タ</sup>テ其ノ年ノ利益ニ對スル稅金ヲ取ラレ、又前年度ノ稅金モ取ラレル、二度取ラレルト云フヤウニ考ヘテ居リマシタガ、其ノ點ハサウ云フコトハナイト云フ

コトデ了解シマシタガ、サウ致シマスト改正法案ハ四月一日ヨリ實施スルモノデアリ

マスカラ、其ノ以前ニ決算期ニ入りマシタモノハ、矢張り是迄通リニ經費ト看做シテ控除スルコトニナルト思ヒマスガ、左様デゴザイマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 法人ニ付キマシテハ、本法ガ實施サレマシタ後ニ終了スル事業年度、及ビ十五年四月一日以降ニ終了スル事業ニ付テ適用ガアルノデゴザイマス、從ヒマシテ本年三月三十一日以前ニ事業年度ヲ終了致シマシタ法人ニ付テハ、現行法ノ下ニ於テ課稅致ス次第デゴザイマス

○橋本辰二郎君 ソレデハッキリ致シマシタガ、サウスルト經費ト看做サナイ、即チ課稅ヲ經費トシテ控除スルコトヲ認メナイコトハ、新法ニ依<sup>タ</sup>テノミ適用スルモ

ノデアッテ、三月三十一日迄ノ法人決算ニ付テハ、舊法ニ依<sup>タ</sup>テ是ハ經費トシテ控除スルコトヲ認メルト云フコトニ了解致シマ

シテ宜シイノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマスト、無論是等ノ念ヲ入レル迄モナイト思ヒマスケレドモ、モウ一應確カヌテ置キタイト思ヒマスガ、決算ハ三月三十一日前デモ、總會ハソレヨリ一二箇月遅レテ新法ノ適用期ニ入りマスルガ、ソレモ差支ナイノデゴザイマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 普通ノ法人ニアリマンシテハ是ハ經費ニ見ルノデアリマスケレドモ、同族會社ニ於キマシテハ、矢張リ前ニ申上げマシタ點ニ付キマシテ限界ヲ置イテ、是ガ認否ヲ決定シテ居ルノデアリマス、例ヘバ縣等方斡旋致シマシテ神社等ノ經費ニ充テル爲ニ寄附金ヲ募集シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、同族會社ノ寄附金ハ大體ニ於キマシテ損金ニ見ル、斯ウ云フ風ニ致シテ居リマセウカ

○橋本辰二郎君 ソレカラ法人ノ寄附金ハ經費ト看做スト云フコトニハナルマイト思ヒマスガ、此ノ限界ニ付キマシテ何カ内規デモアリマセウカ、又列舉的ニ御示ニナルヤウナコトガアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 法人ニ付キマシテハ、普通ノ法人ニアリマシテハ寄附金ハ總テ之ヲ損金ニ認メテ居ルノデゴザイマスルガ、同族會社等ニ於テハ、往々個人的支出ニ屬スベキモノヲ法人ノ寄附金トシテ

支出シテ居ル、斯ウ云フ風ニモ思ハレマスノデ、斯ウ云フモノハ同族會社ノ損金支出

スルガ、同族會社等ニ於テハ、往々個人的

支出ニ屬スベキモノヲ法人ノ寄附金トシテ

支出しシテ居ル、斯ウ云フ意味デハゴザイマセス

○橋本辰二郎君 サウスルト、例ヘバ官幣

體ニ對スル寄附金或ハ社會事業ニ對スル寄

附金、國防關係ノ事業ニ對スル寄附金等ハ

其ノ寄附金ノ性質ニ鑑ミマシテ之ヲ損金ニ見テ居ルノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマスト、此ノ神社佛閣等ノ建築費ニ寄附ヲ致シマシタモノハ

アリマンシテハ是ハ經費ニ見ルノデアリマスケレドモ、同族會社ニ於キマシテ、矢張リ前ニ申上げマシタ點ニ付キマシテ限界ヲ置イテ、是ガ認否ヲ決定シテ居ルノデアリマス、例ヘバ縣等方斡旋致シマシテ神社等ノ經費ニ充テル爲ニ寄附金ヲ募集シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、同族會社ノ寄附金ハ大體ニ於キマシテ損金ニ見ル、斯ウ云フ風ニ致シテ居リマセウカ

○橋本辰二郎君 ソレカラ法人ノ寄附金ハ經費ト看做スト云フコトニハナルマイト思ヒマスガ、此ノ限界ニ付キマシテ何カ内規デモアリマセウカ、又列舉的ニ御示ニナルヤウナコトガアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 法人ニ付キマシテハ、普通ノ法人ニアリマシテハ寄附金ハ總テ之ヲ損金ニ認メテ居ルノデゴザイマスルガ、同族會社等ニ於テハ、往々個人的

支出ニ屬スベキモノヲ法人ノ寄附金トシテ

支出しシテ居ル、斯ウ云フ風ニモ思ハレマスノデ、斯ウ云フモノハ同族會社ノ損金支出

スルガ、同族會社等ニ於テハ、往々個人的

支出ニ屬スベキモノヲ法人ノ寄附金トシテ

支出シテ居ル、斯ウ云フ意味デハゴザイマセス

○橋本辰二郎君 サウスルト、例ヘバ官幣

體ニ對スル寄附金或ハ社會事業ニ對スル寄

附金、國防關係ノ事業ニ對スル寄附金等ハ

其ノ寄附金ノ性質ニ鑑ミマシテ之ヲ損金ニ見ルトスウ云フコトニナリマセウカ

○橋本辰二郎君 サウスルト、例ヘバ官幣

體ニ對スル寄附金或ハ社會事業ニ對スル寄

附金、國防關係ノ事業ニ對スル寄附金等ハ

其ノ寄附金ノ性質ニ鑑ミマシテ之ヲ損金ニ見テ居ルノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマスト、此ノ神社佛閣等ノ建築費ニ寄附ヲ致シマシタモノハ

アリマンシテハ是ハ經費ニ見ルノデアリマスケレドモ、同族會社ニ於キマシテ、矢張リ前ニ申上げマシタ點ニ付キマシテ限界ヲ置イテ、是ガ認否ヲ決定シテ居ルノデアリマス、例ヘバ縣等方斡旋致シマシテ神社等ノ經費ニ充テル爲ニ寄附金ヲ募集シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、同族會社ノ寄附金ハ大體ニ於キマシテ損金ニ見ル、斯ウ云フ風ニ致シテ居リマセウカ

○橋本辰二郎君 ソレカラ法人ノ寄附金ハ經費ト看做スト云フコトニハナルマイト思ヒマスガ、此ノ限界ニ付キマシテ何カ内規デモアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 法人ニ付キマシテハ、普通ノ法人ニアリマシテハ寄附金ハ總テ之ヲ損金ニ認メテ居ルノデゴザイマスルガ、同族會社等ニ於テハ、往々個人的

支出ニ屬スベキモノヲ法人ノ寄附金トシテ

支出しシテ居ル、斯ウ云フ風ニモ思ハレマスノデ、斯ウ云フモノハ同族會社ノ損金支出

スルガ、同族會社等ニ於テハ、往々個人的

支出ニ屬スベキモノヲ法人ノ寄附金トシテ

支出しシテ居ル、斯ウ云フ風ニモ思ハレマスノデ、斯ウ云フモノハ同族會社ノ損金支出

モノデアルニ拘ラズ、縣デヤラズシテ之ヲ  
寄附金ニ俟ツト言フ場合ニ於キマシテハ、  
同族會社ニ限り是ハ否認スルト云フコトニ  
ナリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 要スルニ是  
族會社ノ株主或ハ社員タル個人ガ、個人ノ  
ハ、同族會社デ寄附スベキモノカ、或ハ同

族會社ノ株主或ハ社員タル個人ガ、個人ノ  
地位ニアツテ寄附スベキモノカト云フコト  
ニ於テ、此ノ判定ガ付イテ居ルノデアリマ  
ス、多クノ場合、個人的地位ニ基イテ寄附  
スペキモノデアルノデハナカラウカト存ジ  
マスルガ、寄附金ノ中テ、特ニ公共性、公益  
性ノ強イモノニ付キマシテ、特別ニ或程度

同族會社ノ寄附金ハ之ヲ損金ニ見ル、斯ウ  
云フ扱ニシテ居ルノデアリマス

○橋本辰二郎君 其ノ認定ハ隨分面倒ヲ起  
シハシナイカト思ヒマスガ、是ハ同族會社  
ノ寄附スベキモノデアルカ、又ハ其ノ同族  
會社ノ主タル個人ノ寄附スベキモノデアル  
カト云フコトヲ判定スルノハ相當ムヴカシ  
イカト思ヒマス、併シ考ヘマスルニ、同族會  
社ト雖モ一個ノ人格ヲ備ヘテ居リマスルカ  
ラ、其ノ人格ヲ備ヘタモノニ寄附ヲ要求ス  
ルト云フコトハ私ハアリ得ルコトデアリマ  
ス、之ヲ以テ是ハ同族會社デ出スベキモノ  
デナイ、詰リ同族會社ノ詰リ株主ト申シマ  
スルカ何トカ云フモノノ負擔ニ歸スベキモ  
ノ、ト云フコトニ判定サレマスト非常ニ困  
ルト思ヒマスガ、ソンナ場合ニハドウ云フ  
風ニシテ之ヲ御定メナリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ實際ノ事  
例ニ付テ御考へ下サレバ大體御分リニナル  
カト存ジマス、同族會社ヲ持ツテ居ル人ト  
持ツテ居ナイ人デ、サウシテ今御示ノヤウナ  
場合デ寄附金ヲ出スト、斯ウ致シマスト、同

族會社ヲ持ツテ居ル人ガ、同族會社ノ方カラ  
寄附金ヲ出シテ之ヲ經費ニ見ルト致シマス  
ルト、ソレダケ負擔ノ輕減ニナルノデアリ  
マスルガ、サウ云フ同族會社ヲ持タナイ個

人ガ寄附金ヲ致シマスレバ、之ヲ損金ニ見  
ルノデアリマス、サウ云フ關係上、同族會  
社ノ寄附金ハ多クノ場合之ヲ損金ニ見ナイ  
マシテ兩者ノ間ニ負擔ノ不均衡ガ起ツテ來  
ルノデアリマス、サウ云フ關係上、同族會  
社ノ寄附金ハ多クノ場合之ヲ損金ニ見ナイ  
ノガ寧ロ適當カト存ジマス、勿論同族會社  
ニ於キマシテモ、其ノ營andez居ル事業ノ經  
營上必要ナル限度ノ寄附金ハ之ヲ損金ニ見  
ルノハ當然デアリマスケレドモ、サウデナ  
クシテ、其ノ同族會社ノ株主或ハ社員ガ個  
人的地位ニ基イテ寄附スルヤウナモノハ、  
ソレハ損金ニ見ナインガ寧ロ理論上正シイ  
カト存ズルノデアリマス、併シナガラ公共  
團體ノ行フ公益事業、社會事業團體ノ行フ  
社會事業、國防關係ノ事業等ニ對スル寄附  
金ニ付キマシテハ、其ノ性質ニ鑑ミマシテ、  
特ニ例外トシテ同族會社ニ對シマシテモ之  
ヲ經費ト見ヨウト云フノガ茲數年來ノ扱ヒ  
デゴザイマシテ、大體今後ニ於キマシテモ  
此ノ邊ニ限界點ヲ置イテ行クノガ適當デハ  
ナカラウカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマ  
ス

○橋本辰二郎君 是迄寄附金ヲシテ經費ト  
見ルカ否ヤト云フコトノ裁量ハ、各稅務署  
ニ御委セニナッテ居リマスルカ、又ハ本省ニ  
於キマシテ相當ノ内規ヲ持ツテ金圓的畫一  
的ニ御取計ラヒニナッテ居リマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 同族會社ノ寄  
附金ニ付キマシテハ、度々申上ガマス通り  
ノ標準ヲ設ケマシテ、之ヲ各稅務監督局ニ  
通知ヲ致シマシテ、ソレニ依ツテ施行致サセ  
テ居ル次第デゴザイマス

○橋本辰二郎君 大抵マア御趣意ノアル所  
ハ分リマシタガ、近來殊ニ寄附金ガ非常ニ  
多イノデ、此ノ寄附ニ非常ニ惱マサレテ居  
リマスケレドモ、苟モ軍神ノ爲トカ、若シ  
クハ少シバカリ國ニ功勞ノアッタ人ノ爲ニ  
ノハ大抵否認セラレルヤウニ思ハレマスケ  
レドモ、例ヘバ軍神ノ廣瀬中佐トカ、若シ  
クハ其ノ他ニ日本ノ代表的ノ軍神トスベキ  
ヤウナ人ガ隨分澤山アリマスルガ、サウ云

ハ、マア同族會社ニ關係ノアル者ハ其ノ方  
ノ助成ヲ求メルト云フコトハ、自然是ハア  
非國民拔ヲ受ケマスルノデ、皆苦シイナガ  
カモ知レマセヌガ、今般ノ所得稅法ノ改正  
ニ依リマスト現行法ノ第三種所得稅ノ二分  
ノ一減損更訂、是ハ御廢止ニナルヤウニ思  
ヒマスガ、サウデゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイ  
マス

○河田烈君 其ノ理由ハドウ云フ譯デゴザ  
イマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 從來ハ所得ノ  
決定ハ、原則トシテ前年ノ實情ニ依ツテ課  
稅ヒマスルガ、サウ云フ風ニ御認ニナリマ  
ス、ハナカラウカト存ズルノデアリマス、  
色々アルノデアリマス、是等ヲ通ジテ、同族會  
社ノ寄附金ヲ經濟ニ見ルト云フノハ、困難  
デハナカラウカト存ズルノデアリマス、併  
シナガラ茲數年來、同族會社ニ對スル寄附  
金ノ或一部ノモノヲ經濟ニ見テ居ルト云フ  
ノモ、是ハ取扱ノ上デ斯様致シテ居リマス  
ルノデ、今後尙是等ノ點ニ付キマシテハ相  
當考究致シタイト存ジマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御話ニ續キマシテ  
考ヘマスルノニ、神社佛閣等ニ寄附スルモ  
ハ分リマシタガ、近來殊ニ寄附金ガ非常ニ  
多イノデ、此ノ寄附ニ非常ニ惱マサレテ居  
リマスケレドモ、苟モ軍神ノ爲トカ、若シ  
クハ少シバカリ國ニ功勞ノアッタ人ノ爲ニ  
ノハ大抵否認セラレルヤウニ思ハレマスケ  
レドモ、例ヘバ軍神ノ廣瀬中佐トカ、若シ  
クハ其ノ他ニ日本ノ代表的ノ軍神トスベキ  
ヤウナ人ガ隨分澤山アリマスルガ、サウ云

ハ、マア同族會社ニ關係ノアル者ハ其ノ方  
ノ助成ヲ求メルト云フコトハ、自然是ハア  
非國民拔ヲ受ケマスルノデ、皆苦シイナガ  
カモ知レマセヌガ、今般ノ所得稅法ノ改正  
ニ依リマスト現行法ノ第三種所得稅ノ二分  
ノ一減損更訂、是ハ御廢止ニナルヤウニ思  
ヒマスガ、サウデゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイ  
マス

キマシテハ成ルベク一つ何ト申シマスルカ  
マア鬼ニ角緩カナル御取扱ニナルヤウニ御  
方針ヲ御決メニナリマシテ、寄附者ヲシテ  
氣持好ク寄附ニ應ゼシムルヤウナ氣風ヲ一  
ツ養成スルヤウニ御願ヒ致シタイト思ヒマ  
ス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○河田烈君 私ハ今朝已ムヲ得ナイ用ガア  
リマシテ遲クナリマシタノデ、或ハ重複シ  
タ御質問ヲ申スコトニナルカモ知レマセヌ、  
サウ致シマシタラ誠ニ相濟ミマセヌガ御許  
ヲ願ヒタイト思ヒマス、既ニ前日カラ各論  
ニ入ッテ居リマスト思ヒマスノデ、總體ノコ  
トハ又何カ先般來ノヤウニ質問應答ノ都合  
デ伺ヒタイコトガ起ルカモ知レマセヌガ、  
今日ハ細カイコトニ付テ伺ヒタイト思フノ  
デアリマス、ナカノ長クナリマスノデス  
ガ、先づ三段ニ分ケマシテ、各稅法ノ改正  
案ノ内容ニ付キマシテ少シ細カイコトヲ伺  
ヒマス、ソレカラ第二段ニ衆議院ノ修正案  
ニ付キマシテ伺ヒマス、第三段ニハ誠ニ伺  
フノモ恥カシイヤウナ細カイコトヲ一二點  
伺ヒタイト思ヒマス、初メニ一つ伺ヒタイト  
思ヒマスノハ、細カイコトデ大變御ウル  
シサイト思ヒマスケレドモ、一問一答ニサン  
テ戴キタイト思ヒマス、所得稅法ノ見落シ  
カモ知レマセヌガ、今般ノ所得稅法ノ改正  
ニ依リマスト現行法ノ第三種所得稅ノ二分  
ノ一減損更訂、是ハ御廢止ニナルヤウニ思  
ヒマスガ、サウデゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイ  
マス

税シテ居タノデアリマスルガ、其ノ年ノ所得ガ前年ノ所得ニ對シテ半額以下ニ減ッタ場合ニハ、減損更訂ノ手續ニ依シテ之ヲ低減スルコトヲ得ルト、斯ウ云フコトニナツテ居行ノ狀況ニ照シテ見マスルト云フト、例ヘバ昭和十三年度ニ於キマシテ十萬圓ノ營業収益ガ、十四年ニ十萬圓ト決定シタト、然ルニ十四年ハ三萬圓ノ利益シカナイト、斯ウ云フ譯デ一旦十萬圓ニ決定致シタモノヲ減損更訂ノ手續ニ依シテ三萬圓ト直ス、而シテ十五年ハ前年ノ實績ニ依シテ課稅致スノデアリマスカラシテ、三萬圓ノ決定ヲシナケレバナラスト斯ウ云フ風ニナルノデアリマシテ、結局昭和十三年ト十四年ト兩年ヲ通算致シマスルト十三萬圓ノ所得ガアルニ拘ラズ、六萬圓ノ所得ノ決定ヲ見ルト云フヤウナ狀況ニナルノデアリマシテ、最近ノ數年間ノヤウニ非常ニ經濟界ノ變化ガ多イ時ニアリマシテハ、商人等ガ「ストック」ノ値上リ等ニ依シテ時ニハ百數十萬圓ノ利益ヲ得ルト、然ルニ翌年ハ平常ノ利益ニ復シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、一年ノ假ニ巨額ノ利益ガアッタ者ガ、翌年ノ減損更訂ニナツテスッカリソレガ取去ラレルト云フコトニナツテ、負擔ノ不均衡ヲ來スノデアリマス、從ヒマシテ此ノ度ノ改正案ニ依リマシテハ、總テ前年ノ實績ニ依シテ課稅スルト、澤山利益ガアッタ場合ニハ翌年ニ澤山稅ヲ負擔シテ戴ク、利益ノ少イ場合ニハ翌年少ク負擔ヲシテ戴クト、總テ一年順送リニ課稅ヲシテ行クト云フノガ寧ロ適當ダラウト思ヒマシテ、減損更訂ノ制度ヲ廢止スル次第アリマスクト烈君 從來ノ第三種所得デモ、サウ○川田  
云フ營業所得ト云フヤウナ場合ニハ御説ノ

通リト思フンデアリマスガ、今度ノ改正稅法デモ、勤勞所得ハ、當該年度ノ豫想デナカッタカト思ヒマスガ、分類所得稅ノ方デハ正ニ其ノ當該年度カラ納メルコトニナッテ居リマスガ、今度ノ五千圓以上ノ綜合所得ノ時ニハサウ云フ場合モ餘リナイカモ知レマセスガ、勤勞所得ノ高級所得者ノ如キハ、假ニ三月十五日迄ニ前年度ノ既ニ繼續シテ勤勞所得ヲ得テ居ルモノハ、前年度ノ實績ニ依ッテ、其ノ時ノ一月ニ假ニ例ヲ取ツテ見ルト、就職シタ人ガ、官吏デハ餘リ五千圓六千圓ト云フ斯ウ云フ所得者ハアリマセヌガ、假ニ一月ニ就職スルト、是ハ豫想デモgettテ六千何百圓ト云フモノヲ矢張リ綜合所得ニ三月十五日迄ニ申告シナケレバナラヌダラウト思ヒマスガ、サウシテ七月九月ニ罷メトスルト「一分ノ一ニ達シマセヌナ、營業所得ニ付テハ御説御尤モデゴザイマスガ、サウ云フ場合ニハ勤勞所得者ニハ無理デヤナイカト云フ氣ガ致シマス、尤モ綜合所得額ノ決定ハ、一月ニ始メマスルト六月一杯位デアリマセウカラ、今申上ガマシタ六月迄一年間ガ六箇月デスカラ、六月迄ニ變化ガ生ジナケレバ、六月迄ニ生ジタ變化ハ修正シテ更訂サレバ決定迄ニハ間ニ合フカモ知レマセヌガ、何カ相當多額ノ俸給ヲ貰フヤウナコトナラ十分ニ變更スペキ點ガアルガ、六月以前ニ其ノ收入ガ無クナッタト云フ場合ニハ、矢張リソコニ無理ガ出來ル「ケース」ガアルヤウニ思フノデアリマスガ、サウ云フコトハ起リマセヌカ

キ支給ヲ受ケタ場合<sup>デ</sup>ナケレバ、勤勞所得ニ付キマシテハ豫算課稅ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、從ヒマシテ本年一月、二月等ニ於キマシテ會社ノ重役ニ就職シタ、一年數萬圓ノ報酬ヲ受ケルト云フ場合ニ於キマシテハ、豫算デ課稅スルノデアリマス、所得調査會ヲ五月ニ開キマシテ決定ヲ受ケタド、然ルニ九月頃ニ罷メタト云フコトニナリマスルト、モウ半年以上ノ俸給ヲ受取テ居ルカラシテ、減損更訂ノ適用モ受ケル譯ニハ行キマセヌ、豫算課稅ヲ受ケタ其ノ儀ノ稅ヲ納メナケレバナラス、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、更ニ所得調査會閉會後ニ就職スル、六月、七月ニ就職シタ場合ニハ課稅ノ途ハナイ、マルヽ初メノ一年ハ免レテシマフト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ度ノ改正案ニ於キマシテハ、分類所得稅ハ、支給ヲ受クル都度、源泉ニ依テ課稅スル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマスカラ、毎月支給ヲ受クル場合ニ其ノ支給額ノ百分ノ六ノ稅ヲ納メル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、從ヒマシテ、二月、三月ニ就職致シマシテモ、就職ノ月カラ毎月分類所得稅ハ納メル、八月九月ニナツテ寵ママスルト、寵メタ後ハ、後ハ分類所得稅ノ課稅ヲ受ケナシタ云フノデハ、全ク支給ヲ受クル事實トイト云フノデアリマスガ、ソレハ總テ翌年ニ於キマシテ前年ノ實績ニ合致シタ納稅額デアリマス、ソレカラ綜合所得稅ノ方ニ於キマシテハ、五千圓ヲ超過シタ場合ニ課稅ヲ受ケルノデアリマスガ、ソレハ總テ翌年ニ於キマシテ前年ノ實績ニ依ツテ課稅ヲ受クルト云フコトニナツテ居リマスルカラ、本年二月、三月ニ就職シタ者、本年ハ綜合所得稅ノ賦課ハ受ケナイノデアリマス、明年ニナツテ前年ノ實績ニ對シテ

言ツテ宜イカ、色々ナ名稱ヲ附シテ俸給ニ代  
ルヤウナモノヲ出シテ、分類所得税ヲ免レ  
ル意味ニ於テ費用辨償ト云フコトヲ書カレ  
ルノハ、其ノ意味ハ能ク分リマスケレドモ、  
官廳ナラ官廳デ以テ是ハ費用辨償ダカラ所  
得税ヲ差引テ渡ス、受取ル方デハ、イヤ  
ソレハサウ云フ性質デハナイト云フ争議ガ  
起ツタ場合ニハ、ソレハ何處デソレヲ決定セ  
ラレルノデアリマスカ、從來ハ申告シタ中  
ニ税ヲ課セラルベキ所ノ所得ガアルカナイ  
カト云フコトハ税務署ニ於テ決定シテ、之  
ニ對シテ不服ガアレバ審査ヲ要求スル途ガ  
アッタノデアリマスガ、今度ノ改正案ニ於キ  
マシテモ、綜合所得税ニ付キマシテハ審査  
ノ方法ガ設ケラレテ居リマスカラ、是ハ國  
ト納稅者トノ争議ヲ決定スルモノガアルノ  
デアリマス、今度ハ納稅者ト負擔者トノ間  
ノ争議ハ、税務署ガ直グサウ云フロヲ利ク  
機會ガナイヤウニ思フノデアリマスガ、マ  
アドウモ訴願ヲ要スル問題デモアリマセヌ  
シ、行政訴訟ヲ起ス問題デモアリマセヌ  
ガ、サウ云フ争議ハ何處デ決定サレルコト  
ニナルノデアリマセウカ、例ヘバ通行税ハ一  
等デ以テ何「キロ」ナラ幾ラト決シテ居リマス  
カラ、是ハ納メル方デモ直グ分リマスカラ  
餘リ争議ハ生ジマセヌガ、此ノ分類所得ノ  
勤勞所得ノヤウナモノハ、是ハ税ヲ納ムル  
勤勞所得ナリヤ否ヤト云フコトハ、今迄ハ  
税務署ノ意見トノ相違ト云フコトニナリマ  
スカラ決定機關モアリマスガ、今度ハ納稅  
者……官廳官立ナラ分リマスガ、私立ノ其  
ニハ、ドウ云フ風ニ決定スルノデアリマス

普通ノ場合ニハ極メテ明瞭ニ疑義ガ起リマ  
セヌカラ、今御尋ノヤウナコトハサウ屢、起  
ラナイト存ジマス、唯費用辨償ニ觸レテ御  
質問ガゴザイミシタガ、費用辨償或ハ旅費  
ト云フヤウナモノモ、實際實費辨償ノ趣旨  
デ以テ支給セラレテ居ルモノニ對シマシテ  
ハ別ニ課稅ハ致シマセヌ、從ヒマシテサウ  
云フモノニ付テノ争モ起ルコトハナカラウ  
ト存ジマス、此ノ慶費用辨償ノ中デ課稅ス  
ルノハ、月額年額等ア以テ支給シテ居ルモノ  
デゴザイマシテ、是ハ實費辨償ノ域ヲ逸脱  
シテ居ルノデアリマス、東京市等ニモ其ノ  
例ガアリマシテ、從來モ帝國議會ノ議員ノ  
歳費ト同様ノ性質ヲ帶ビテ居ルト云フノ  
デ、現行法ノ下ニ於テモ是ハ課稅シテ居タ  
ノデアリマスルガ、之ヲ今回ハ明文ニハッキ  
リ謳ジタダケノモノデゴザイマス、從ヒマシ  
テ此ノ點ニ付キマシテモ、別ニ新シク紛糾  
ガ起ル懸念ハナイカト存ジマス、併シナガ  
ラ抽象的ニ、若シ納稅義務者ト徵收義務者  
トノ間ニ於テ課稅上ニ見解ガ違ツタ場合ニ  
ドウスルカ、從來ノヤウナ審査請求ノ手續  
ニ依ル譯ニ行カナイデハナカラウカト云フ  
御尋デゴザイマスレバ、是ハ審査請求ノ手  
續ニ依リマスルノハ、稅務署手續致シタ  
モノニ付テデゴザイマス、所得調査委員會  
ニ付議シテ決定シタモノニ付テデゴザイマ  
定スルモノデハナイノデアリマスカラ、審  
査ノ手續ニ依ル譯ニハ參ラナインデアリマ  
チ本法施行地ニ於テ支拂ヲ受クル勤勞所得  
スケレドモ、併シナガラ是ガ課稅ニ關シテ稅  
務當局ト意見ガ異ナル場合ニハ、普通ノ訴願  
訴訟ノ手續ニ依ツテ解決サレルノデアリマス

○河田烈君  
サウ致シマスト、徵收義務者ト納稅義務者ノ意見ノ相違ニ付テ、矢張リ  
徵收義務者ガソレヲ徵收シテ、稅務署ガ之ヲ其ノ儘是認シテ承認シタ場合ニハ、普通ノ租稅ニ對スル訴願訴訟ノ形式ニ依シテ決定スル、斯ウ云フコトデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 納稅義務者ガ課稅ニ付テ異議ガアリマスレバ、普通ノ租稅ノ賦課徵收ニ關スル件ト云フコトデゴザイマンシテ、訴願訴訟ノ手續ニ依シテ争ヒ得ルカドウカト云フ點ニ付テ疑義ガアリ争ガ起リ、意見ガ遠フト云フヤウナコトガアリマシテハ、非常ニ是ハ此度ノヤウナ制度ノ下ニ於テ稅務ヲ執行スル上ニ於テ甚ダ憂慮スベキ事態ニナルノデアリマスカラ、施行ノ當初ニ當リマシテモ、十分ニ徵收義務者ト連絡ヲ取リマシテ、サウ云フ紛議ガ起ラヌヤウニ極力努メタイト存ジマス、法律上ノ解釋ト致シマシテハ、前ニ申上ゲタ通りデゴザイマス○河田烈君 能ク分リマシタ、今ノ徵收義務者ト納稅義務者トノ間ノ疑義ニ付テ、甚ダ詰ラヌ訴訟ナント云フコトハ、理論カラ云ツテモ出來ルコトデハナイト思ヒマスルノデ、理論カラシテモ因難ト思ヒマスノデ、其ノ點ハ能ク分リマシタ、ソレカフ是ハ先般來委員方ノ質問應答ノ中ニ於キマシテ伺ッテ居ル中ニ、チヨイヽ＼＼疑義ヲ生ジマシタノデアリマス、固メテ伺ッタ方ガ宜トイ思ヒマシテ後ヘ殘シテ置キマシタ、伺ヒ達ヒカモ

マシテ、物納ノコトニ付キマシテ色々御議論ガ出マシタ、其ノ御議論ノ中ニ斯ウ云フコトガアリマシタノデス、不動産ノ評價ニ付キマシテ、稅務當局ト納稅者トノ間ニ意見ガ一致シナカッタ場合ニハ、其ノ不動產ノ稅務當局トノ意見ガ一致シナクトモ之ヲ金額ヲ以テ納メナクトモ、不動產ノ評價額ヲ以テ其ノ儘國ニ於テ處分シテ不動產ニ付テ物納スルコトヲ認メタラドウカト云フ御話ガ出マシタ時ニ、サウナルト稅務當局ノ國ノ評價ノ方ガ安イ時ニハ金デ納メル、高イ時ニハ物納スル、評價ガ國ノ方ガ時價ヨリ安カッタ場合ニハ金デ納メルト云フヤウナコトニナッテシマヒハセスカト云フ御答辯ガアツタノデスガ、私ハチヨツト……サウシタラバ申告者ノ方モ決定者ノ方モ慎重ノ態度ヲ執ルト云フコトニナルノデ、ソニ妙味ガアル、安カッタ場合ニハ金納ヲスル、高カッタ場合ニハ不動產ノ物納ヲスルト云フコトニナル虞ガアルカラ、兩者ハ極メテ慎重ニ所謂適正ナル評價ヲスルノデアルカラ、私ノ伺ヒ違ヒカモ知レマセヌガ、サウ云フヤウナコトノ起ル心配ガアルト云フコトニ妙味ガアルコトデ極メテ名案ト思フノデスガ、私ノ伺ヒ違ヒデセウカ

モ尙一層慎重ニナル、從ツテ評價ノ適正モ期シ得ラレル效果ハアルデハナカラウカト存ジテ居リマス、其ノ點ニ於キマシテハ河田サンノ仰セニナル通リニ考ヘテ居リマス是ハ餘計ナオ節介ノヤウニ聞ヘルカモ知レマセヌガ、先日大河内子爵ノ御質問ニ、法人ノ留保所得ニ付テハモット恩典ヲ與ヘタラドウカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府ノ方ノ御答辯デハ、色々法人ハ法人トシテノ人格モアルカラ、留保所得ニ付テ特ニ恩典ヲ與ヘル、是以上ニ恩典ヲ與ヘル、原案以上ニ恩典ヲ與ヘル必要ハナイト云フヤウナ御説明デアリマシテ、ソレモ了承致シマシタガ、ソコデ思ヒ浮ベマスノハ、成ル程法人稅、所得稅等ニ……法人稅ニハ掲ガラレマセヌガ、尙今日現存シテ居ル所ノ臨時租稅措置法ノ方ニ、法人ノ留保所得ニ對スル課稅輕減ノ規定ハ更ニ之ヲ擴大サレテ出テ居リマス、是ハ今丁度大河内子爵カラ御質問ニナツタヤウナ……大河内子爵ノ御満足ヲ買フダケノ恩典デヤナイカモ知レマセヌガ、矢張リ政府ハ其ノ點ニ考ヲ留メテ居ラレルノデヤナイカト思フノデアリマスガ、如何デゴザイマセウ

○政府委員(大矢半次郎君) 臨時租稅措置法ニ依リマシテ、此ノ度モ此ノ法人ノ留保所得ノ中、生産擴充ノ施設ニ投ジタモノ及

シタ際ニ於テハ、此ノ點モアルガ、更ニゾ

レ以上一般的ニ法人ノ留保所得ニ對スル課置

○河田烈君 ソレデ十分デゴザイマス、私ガ伺ヒ損ナツタヤウデゴザイマス、ソレカラ

是ハ餘計ナオ節介ノヤウニ聞ヘルカモ知レ

マセヌガ、先日大河内子爵ノ御質問ニ、法

人ノ留保所得ニ付テハモット恩典ヲ與ヘタ

ラドウカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府

ノ方ノ御答辯デハ、色々法人ハ法人トシテ

ノ人格モアルカラ、留保所得ニ付テ特ニ恩

典ヲ與ヘル、是以上ニ恩典ヲ與ヘル、原案

以上ニ恩典ヲ與ヘル必要ハナイト云フヤウ

ナ御説明デアリマシテ、ソレモ了承致シマ

シタガ、ソコデ思ヒ浮ベマスノハ、成ル程

法人稅、所得稅等ニ……法人稅ニハ掲ガラ

レマセヌガ、尙今日現存シテ居ル所ノ臨時

租稅措置法ノ方ニ、法人ノ留保所得ニ對ス

ル課稅輕減ノ規定ハ更ニ之ヲ擴大サレテ出

テ居リマス、是ハ今丁度大河内子爵カラ御

質問ニナツタヤウナ……大河内子爵ノ御満

足ヲ買フダケノ恩典デヤナイカモ知レマセ

ヌガ、矢張リ政府ハ其ノ點ニ考ヲ留メテ居

ラレルノデヤナイカト思フノデアリマス

ガ、如何デゴザイマセウ

○政府委員(大矢半次郎君) 臨時租稅措置

法ニ依リマシテ、此ノ度モ此ノ法人ノ留保

所得ノ中、生産擴充ノ施設ニ投ジタモノ及

シタ際ニ於テハ、此ノ點モアルガ、更ニゾ

レ以上一般的ニ法人ノ留保所得ニ對スル課

置

○河田烈君 其ノ點ハ質問應答ノ趣旨ガ能

ク分リマシタガ、蓋シ質問者ノ御趣旨ハ、

此ノ臨時租稅措置法デハ生産擴充ト大藏大

臣ノ指定スル債券、是ハ今何ガ指定サレテ

アルカ私記憶シテ居リマセヌガ、興業銀行

株トカ興業債券ト云フヤウチモノガ狙ヒ所

デアツタンデヤナイカト想像シマスガ、更ニ

進ンデ質問者ノ言ハレマシタヤウニ、何カ此

ノ過日ノ御質問ノ要點ハ、他日市況ガ不良

ニナツタ場合ノ損失ヲ「カバー」スル意味ニ於

テ、留保スル者ニハ恩典ヲ……輕減シテヤッテ

モ宜イデヤナイカト云フヤウニ承ッタノデア

リマスガ、只今ノ所別ニ政府ハ其ノ意味ニ於

テ、詰リ茲ニ臨時租稅措置法ニアル生産擴充

ト大藏大臣ノ指定スル證券、其ノ指定スル

證券ト云フノハ是ハ想像デスカラ違フカモ

知レマセヌガ、莫大ナル特殊ノ利益ヲ此ノ

際今ノ事變ニ乘ジテ得テ居ル所ノモノヲ、

或一種ノ「ブル」シテ置クト云フ意味カ

ラ、ソレニ投資セシムル爲ニ、公債トカ興

業債券トカ、サウ云フモノニ投資サセマシ

テト云フ意味デアツテ、此ノ中ニハ、大藏大

臣ノ指定スル證券ト云フ中ノ意味ニ於テ、

他日ノ儲ヘノ爲ニ投資スルト云フ證券ハ頭

云フ風ニ致シマスルト云フト、租稅上ノ負

擔ノ均衡ト云フ點ニ於テモ亦大イニ考慮シ

ナケレバナラヌ事態ガ起シテ來ルト思ハレ

ルノデアリマシテ、結局法人ノ留保所得ニ

對スル課稅ノ輕減ハ、負擔ノ均衡ト產業政

策トノ兩者ノ調和ヲソコニ見出サレル趣旨

ニ於テ行フベキモノデ、餘リニ之ヲ擴張シ

過ギルト云フト、臨時利得稅創設ノ趣旨

ト、或ハ超過所得ニ對シテ負擔ヲ重クシテ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ點ニ付キ

マシテハ、例ヘバ減價償却ノ内規ヲ改正致

シマシテ、堪久年數ヲ短縮スル等ノ方法ニ

シテ、ソレニ付キマシテハ、大體此ノ度ノ

提案ノ程度デ適當デハナカラウト考ヘタ次第デアリマス

居ル、斯ウ申上ゲタ次第デゴザイマス

ウカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタカラ

シテ、ソレニ付キマシテハ、大體此ノ度ノ

提案ノ程度デ適當デハナカラウト存ジテ

居ル、斯ウ申上ゲタ次第デゴザイマス

ガ同ヒ損ナツタヤウデゴザイマス、ソレカラ

ラドウカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府

ノ方ノ御答辯デハ、色々法人ハ法人トシテ

ノ人格モアルカラ、留保所得ニ付テ特ニ恩

典ヲ與ヘル、是以上ニ恩典ヲ與ヘル、原案

以上ニ恩典ヲ與ヘル必要ハナイト云フヤウ

ナ御説明デアリマシテ、ソレモ了承致シマ

シタガ、ソコデ思ヒ浮ベマスノハ、成ル程

法人稅、所得稅等ニ……法人稅ニハ掲ガラ

レマセヌガ、尙今日現存シテ居ル所ノ臨時

租稅措置法ノ方ニ、法人ノ留保所得ニ對ス

ル課稅輕減ノ規定ハ更ニ之ヲ擴大サレテ出

テ居リマス、是ハ今丁度大河内子爵カラ御

質問ニナツタヤウナ……大河内子爵ノ御満

足ヲ買フダケノ恩典デヤナイカモ知レマセ

ヌガ、矢張リ政府ハ其ノ點ニ考ヲ留メテ居

ラレルノデヤナイカト思フノデアリマス

ガ、如何デゴザイマセウ

○政府委員(大矢半次郎君) 臨時租稅措置

法ニ依リマシテ、此ノ度モ此ノ法人ノ留保

所得ノ中、生産擴充ノ施設ニ投ジタモノ及

シタ際ニ於テハ、此ノ點モアルガ、更ニゾ

レ以上一般的ニ法人ノ留保所得ニ對スル課

置

○河田烈君 其ノ點ハ質問應答ノ趣旨ガ能

ク分リマシタガ、蓋シ質問者ノ御趣旨ハ、

此ノ臨時租稅措置法デハ生産擴充ト大藏大

臣ノ指定スル債券、是ハ今何ガ指定サレテ

アルカ私記憶シテ居リマセヌガ、興業銀行

株トカ興業債券ト云フヤウチモノガ狙ヒ所

デアツタンデヤナイカト想像シマスガ、更ニ

進ンデ質問者ノ言ハレマシタヤウニ、何カ此

ノ過日ノ御質問ノ要點ハ、他日市況ガ不良

ニナツタ場合ノ損失ヲ「カバー」スル意味ニ於

テ、留保スル者ニハ恩典ヲ……輕減シテヤッテ

モ宜イデヤナイカト云フヤウニ承ッタノデア

リマスガ、只今ノ所別ニ政府ハ其ノ意味ニ於

テ、詰リ茲ニ臨時租稅措置法ニアル生産擴充

ト大藏大臣ノ指定スル證券、其ノ指定スル

證券ト云フノハ是ハ想像デスカラ違フカモ

知レマセヌガ、莫大ナル特殊ノ利益ヲ此ノ

際今ノ事變ニ乘ジテ得テ居ル所ノモノヲ、

或一種ノ「ブル」シテ置クト云フ意味カ

ラ、ソレニ投資セシムル爲ニ、公債トカ興

業債券トカ、サウ云フモノニ投資サセマシ

テト云フ意味デアツテ、此ノ中ニハ、大藏大

臣ノ指定スル證券ト云フ中ノ意味ニ於テ、

他日ノ儲ヘノ爲ニ投資スルト云フ證券ハ頭

云フ風ニ致シマスルト云フト、租稅上ノ負

擔ノ均衡ト云フ點ニ於テモ亦大イニ考慮シ

ナケレバナラヌ事態ガ起シテ來ルト思ハレ

ルノデアリマシテ、結局法人ノ留保所得ニ

對スル課稅ノ輕減ハ、負擔ノ均衡ト產業政

策トノ兩者ノ調和ヲソコニ見出サレル趣旨

ニ於テ行フベキモノデ、餘リニ之ヲ擴張シ

過ギルト云フト、臨時利得稅創設ノ趣旨

ト、或ハ超過所得ニ對シテ負擔ヲ重クシテ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ點ニ付キ

マシテハ、例ヘバ減價償却ノ内規ヲ改正致

シマシテ、堪久年數ヲ短縮スル等ノ方法ニ

シテ、ソレニ付キマシテハ、大體此ノ度ノ

提案ノ程度デ適當デハナカラウト考ヘタ次第デアリマス

居ル、斯ウ申上ゲタ次第デゴザイマス

ウカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタカラ

シテ、ソレニ付キマシテハ、大體此ノ度ノ

提案ノ程度デ適當デハナカラウト存ジテ

居ル、斯ウ申上ゲタ次第デゴザイマス

ガ同ヒ損ナツタヤウデゴザイマス、ソレカラ

ラドウカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府

ノ方ノ御答辯デハ、色々法人ハ法人トシテ

ノ人格モアルカラ、留保所得ニ付テ特ニ恩

典ヲ與ヘル、是以上ニ恩典ヲ與ヘル、原案

以上ニ恩典ヲ與ヘル必要ハナイト云フヤウ

ナ御説明デアリマシテ、ソレモ了承致シマ

シタガ、ソコデ思ヒ浮ベマスノハ、成ル程

法人稅、所得稅等ニ……法人稅ニハ掲ガラ

レマセヌガ、尙今日現存シテ居ル所ノ臨時

租稅措置法ノ方ニ、法人ノ留保所得ニ對ス

ル課稅輕減ノ規定ハ更ニ之ヲ擴大サレテ出

テ居リマス、是ハ今丁度大河内子爵カラ御

質問ニナツタヤウナ……大河内子爵ノ御満

足ヲ買フダケノ恩典デヤナイカモ知レマセ

ヌガ、矢張リ政府ハ其ノ點ニ考ヲ留メテ居

ラレルノデヤナイカト思フノデアリマス

ガ、如何デゴザイマセウ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ點ニ付キ

マシテハ、例ヘバ減價償却ノ内規ヲ改正致

シマシテ、堪久年數ヲ短縮スル等ノ方法ニ

シテ、ソレニ付キマシテハ、大體此ノ度ノ

提案ノ程度デ適當デハナカラウト考ヘタ次第デアリマス

居ル、斯ウ申上ゲタ次第デゴザイマス

ウカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタカラ

シテ、ソレニ付キマシテハ、大體此ノ度ノ

提案ノ程度デ適當デハナカラウト存ジテ

居ル、斯ウ申上ゲタ次第デゴザイマス

ガ同ヒ損ナツタヤウデゴザイマス、ソレカラ

ラドウカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府

ノ方ノ御答辯デハ、色々法人ハ法人トシテ

ノ人格モアルカラ、留保所得ニ付テ特ニ恩

典ヲ與ヘル、是以上ニ恩典ヲ與ヘル、原案

以上ニ恩典ヲ與ヘル必要ハナイト云フヤウ

ナ御説明デアリマシテ、ソレモ了承致シマ

シタガ、ソコデ思ヒ浮ベマスノハ、成ル程

法人稅、所得稅等ニ……法人稅ニハ掲ガラ

レマセヌガ、尙今日現存シテ居ル所ノ臨時

租稅措置法ノ方ニ、法人ノ留保所得ニ對ス

ル課稅輕減ノ規定ハ更ニ之ヲ擴大サレテ出

テ居リマス、是ハ今丁度大河内子爵カラ御

質問ニナツタヤウナ……大河内子爵ノ御満

足ヲ買フダケノ恩典デヤナイカモ知レマセ

ヌガ、矢張リ政府ハ其ノ點ニ考ヲ留メテ居

ラレルノデヤナイカト思フノデアリマス

ガ、如何デゴザイマセウ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ點ニ付キ

マシテハ、例ヘバ減價償却ノ内規ヲ改正致

シマシテ、堪久年數ヲ短縮スル等ノ方法ニ

シテ、ソレニ付キマシテハ、大體此ノ度ノ

提案ノ程度デ適當デハナカラウト考ヘタ次第デアリマス

居ル、斯ウ申上ゲタ次第デゴザイマス

ウカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタカラ

シテ、ソレニ付キマシテハ、大體此ノ度ノ

提案ノ程度デ適當デハナカラウト存ジテ

居ル、斯ウ申上ゲタ次第デゴザイマス

ガ同ヒ損ナツタヤウデゴザイマス、ソレカラ

ラドウカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府

ノ方ノ御答辯デハ、色々法人ハ法人トシテ

ノ人格モアルカラ、留保所得ニ付テ特ニ恩

典ヲ與ヘル、是以上ニ恩典ヲ與ヘル、原案

以上ニ恩典ヲ與ヘル必要ハナイト云フヤウ

ナ御説明デアリマシテ、ソレモ了承致シマ

シタガ、ソコデ思ヒ浮ベマスノハ、成ル程

法人稅、所得稅等ニ……法人稅ニハ掲ガラ

レマセヌガ、尙今日現存シテ居ル所ノ臨時

租稅措置法ノ方ニ、法人ノ留保所得ニ對ス

ル課稅輕減ノ規定ハ更ニ之ヲ擴大サレテ出

テ居リマス、是ハ今丁度大河内子爵カラ御

質問ニナツタヤ

○河田烈君 少シ此ノ施行規則ノ關係ト今  
主税局長ガ附言セラレタ關係トハ、能クハッ

キリシナイト思ヒマスガ、餘リ細カイ法規ノ解釋ニナリマスカラ、其ノ點ハ是以上伺ハナイコトニ致シマス

○子爵大河内耀耕君 チョット只今ノニ關  
聯シテ伺ヒマス、今ノ命令ヲ以テ定メルト

云フノハ、和ノ期ウ云フ風ニ解釋シテ決メ  
テ居リマス、時局ニ關係スルコトバカリ命  
令ヲ以テ定メルノデ、何デモ彼デモ唯事業

ノ基礎ヲ鞏固ニシテヤラナケレバイケナイ  
ト云フ、サウ云フヤウナコトヲ命令デ御決

マニナルノテハナイノテ少クモ時局關係ノ產業ト、斯ウ云フ風ニ見テ居タノデアリマスガ、ソレハサウ解釋シテ宜イノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイ  
マス、其ノ設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲

斯場合ニハ時局産業方面ニ限ツテ居リマス、生産力擴充ヲ必要トスルト國ニ於テ認メラレル時局産業ニ限ツテ居リマス、ソレカラ國

債證券ト方興業債券ニ投資スルト云フノハ、是ハ單リ時局産業バカリデナク、一般ノ法

人ニ於キマシテモ留保所得ノ一部ヲ以テ  
債ニ投資スル、或ハ興業債券ニ投資スルト  
云フ場合ニハ、總テ經済シテ居ル、斯ウ云

○子爵大河内輝翁君　國債八分リマシタガ、

○政府委員(大矢半次郎君)　只今指定シテ  
其ノ外ニハドンナモノヲ御考へ申ニ置イテ  
御居デニナリマスカ

居リマスノハ興業債券ノ中、臨時資金調整法第六條第四項ノ規定ニ依ッテ「元本ノ償還

○子爵大河内輝耕君　サウスルトソレハ國  
及利子ノ支拂ニ付テ政府ノ保證アルモノニ  
限ツテ居リマシテ、ソレダケデゴザイマス

○政府委員(大矢半次郎君) 私が先程申上  
ゲマシタノハ此ノ事業ノ用ニ供スル設備ノ  
新設、擴張又ハ改良ヲ爲スト云フ、其ノ事  
業ト云フノハ時局産業ノ範圍ヲ出デナイノダ  
ト云フ立法ノ趣旨デハナイノデスカ  
カラ國債證券、興業債券等ヲ保有スルモノ  
ハ時局産業關係ノ會社バカリデナク、普通  
ノ平和産業ノ會社ニ於キマシテモ留保所得  
ノ一部ヲ以テ斯ウ云フ方面ノ證券ヲ保有シ  
テ居レバ輕減スルト云フ譯デゴザイマスガ、  
結局ニ於テ大河内子爵ノ仰セノ通り、兩方  
引括メテ言ヘバ時局産業面方ニ投資シタ  
云フ風ニ申上ガラレルカト思ヒマス  
○子爵大河内輝蔵君 私此ノ點ヲ明カニシ  
テ置キタイノデスガ、初メノ第一ノハ分リ  
マシタ、第一ノ、其ノ時局産業ノ事業が自  
分ノ事業ヲ擴張スルト、是ハ能ク分ッテ居  
ル、國債モ是モ能ク分リマシタ、其ノ次ノ  
興業債券デ政府ノ保證シタモノトカ云フコ  
トデスガ、今ノ御話ダト政府ガ保證シタモ  
ノハ何デモ宜イトカ云フ風ニ取レマスケレ  
ドモ、ソレノ立法ノ狙イ所ハサウ云フ廣イ  
モノデハナインデハナイデスカ、所謂時局  
産業ヲ見テ、サウシテ時局ノ爲ニ投資シタ  
モノハ恩典ヲ與ヘテヤルト、斯ウ云フ嚴格  
ナ意味ヲ持ツテ居ルノデハアリマスマイカ、  
ソレトモ、モウ少シ立入ツテ伺ヘバ、其ノ中  
ニ時局産業……現實ニ、現實ノモノデ時局  
ニ關係ノ無イト云フモノガアリマスカ  
○政府委員(大矢半次郎君) ソレハ仰セノ

通リデゴザイマス、興業債券ノ中ニモズット  
古タカラ發行シテ居ルノガアルノデアリマ

シテ、斯ウ云フモノヲ新シク所有シテモソ  
レハ輕減シナイ、臨時資金調整法ノ第六條  
第四項ノ規定ニ依リ云々ト致シマシテ、今

日生産力擴充ヲ必要トスル爲ニ特別興業債券ヲ發行スルト、之ニ對シマシテハ政府ニ

於テモ元本ノ償還 和息ノ支拂ニ付テ保証ヲシテ居ルト、斯ウ云ノノデゴザイマシテ、スウ云ノ方面ニ投資スル場合ニ於キマシテ

ハ其ノ課稅ノ負擔ヲ輕減シヨウ、斯ウ云フ  
趣旨デゴザイマス、將來尙、單リ興業債券

ハカリテナク、之ニ類似シタモノニアリマシテ、課税上特別ノ措置ヲ講ジテ置カナケレバ、資金ガ其ノ方面へ向クコトガ稍、困難ト

見ラレル場合ニ於キマシテハ、此ノ範圍ヲ  
擴張シテ行キタイト存ジマスガ、ソレハ飽

ス  
ク迄モ時局關係ノ方ノ投資ヲ容易ナラシメ  
ルト云フ趣旨カラ致シタイト存ジテ居リマ

○子爵大河内麿耕居 具體的ナ例ヲ一ツ二  
ツ御承知ナラ舉ゲテ戴キタイ、假リニ興業

トヲ伺ヒタイ  
債券デ今其ノ最後ノ該當スルモノハドンナ  
モノニ興業債券デ投資シテ居ルカト云フコ

○政府委員(大矢寧次郎君) 是ハ取調べマ  
シテ後程御答へ致シタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト斯ガ云  
フコトニナリマスカ、保證ヲシサヘスレバ  
ソレデ宜イノダト、サウスルト保證ハ必ズ、

シモ時局ノ關係バカリカラ起ルノデハナイ、  
外ニモアラウト思フ、外ニモアラウト云フ

コトニナレバ、假令時局ノ關係ガ薄クテモ  
外ノ必要カラ保證サレタモノデモ、法律上  
ノ表面カラ行ケバ適用ハアルノダ、無論輕

○政府委員(大矢半次郎君) 政府ノ保證ア  
ルモノハ總テ課稅ヲ輕減スルト云フ趣旨デ  
ハゴザイマセヌ、御承知ノ通り、時局關係  
ノ資本金ガ非常ニ多額ニ要求セラレマシテ、  
場合ニ依ツテハ興業銀行等ニ對シテ國家總  
動員法ノ發動ニ依ツテ、貸附命令迄モ出シ得  
ルト云フヤウナ規定モアルノデゴザイマシ  
テ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ政府ガ保  
證ヲシテ興業債券ヲ發行スルト云フ制度ニ  
ナツテ居ルカト存ジマス、斯ウ云フ場合ニハ  
課稅上ニ於キマシテモ、其ノ方面ノ投資ニ  
對シテ或程度負擔ヲ輕減致シマシテ、生産  
力擴充ニ支障ナカラシヌルヤウニ致シタイ、  
斯ウ云フ趣旨デゴザイマセヌ  
ガ保證シタモノニ對シテハ何デモ課稅ヲ輕  
減スル、斯ウ云フ趣旨デハゴザイマセヌ  
○子爵大河内耀耕君 御趣旨ハ分リマシタ  
ケレドモ、ソレガ法文ノ上ニ現レテ居ナイ  
ヤウニ思ヒマスガ如何デセウ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ臨時資金  
調整法第六條第四項ノ規定ニ依リ元本ノ償  
還及利息ノ支拂ヲ政府ノ保證ノアルモノニ  
限ル、斯ウ致シテ居リマスカラシテ、此ノ  
生産擴充ヲ必要トル方面ニ出テ行ク資金  
ノ爲ノ興業債券グト云フコトハ明カニナツテ  
居ルカト存ジマス

○子爵大河内耀耕君 ソレデ宜シウゴザイ  
マス

ノイノデアリマスカラ、政府ニ伺フノハ甚ダ  
御迷惑千萬トハ萬々承知致シマスケレド  
モ、先般來本委員會ニ於キマシテモ、修正  
ノ結果六千萬圓ノ收入減ヲ生ジマスル其ノ  
點ガ最モ重要ナル論點ニナッテ居ルト思ヒ  
マスノデ、此ノ衆議院ノ修正ニ付キマシテ、  
衆議院ノ修正シタル理由並ニ之ニ對スル政  
府ノ御見解ヲ一應御迷惑ナガラ檢討シテ置  
ク必要ガアルト思フノデ伺フ次第デアリマ  
ス、衆議院ノ修正シタル理由ヲ政府ニ伺フ  
ノハ甚ダ御迷惑千萬ト思ヒマスケレドモ、  
大體御分リノコトト思ヒマスカラ、御分リ  
ノ程度ニ於テ御答辯ヲ願ヘレバ結構ト思ヒ  
マス、少シ御ウルサウゴザイマスケレドモ、  
モ、正確ニシマスル爲ニ、此ノ「稅制改正案  
ニ對スル衆議院ノ修正事項」ト云フ参考書ヲ  
第一ニ所得稅、(一)ハ、分類所得稅ノ基礎控  
除額ヲ六百圓カラ七百二十圓ニ上げテ居ル  
ノデアリマス、政府トシテハ、多分六百圓  
ト云フノハ月五十圓ト、斯ウ云フ所デ、月  
五十圓ガ適當ナリヤ、四十圓ガ適當ナリヤ、  
或ハ六十圓ガ適當ナリヤ、此ノ點ガ議論ノ  
岐レル所デアラウト思ヒマスケレドモ、成  
ルベク分類所得稅ト云フモノヲ國民全般ニ  
亘ツテ納稅セシメル、普遍的ニ納稅セシメル  
ト云フ趣旨デ、先づ月五十圓ト云フ所ヲ適  
當トシテ定メラレタコト承知致シマスシ、  
自由裁量ニ屬スル點ト思フノデアリマスガ、  
特ニ何カ是ハ衆議院ニ於テ十圓ト云フ所ニ  
重キガアルノデアリマスカ、又、マア十圓

位上ゲテモ宜カラウト云フ所謂此ノ際流行ノ腰ダメノ修正ナノデアリマセウカ、又政府ノ之ニ對スル御見解ハ如何デアリマセウカ  
○政府委員(大矢半次郎君) 衆議院ノ修正カト云フコトヲ申上ガルノハ、全ク河田サソノ仰セノ通り政府ト致シテハ少シク困難ナ點ガアルノデアリマシテ、各派カラ色々意見ガアリマシタノガ、最後ニ於キマシテ斯ウ云フ風ナ修正案ニナツタ次第デアリマスカラシテ、從テ的確ニ斯カル理由ヲ以て修正シタト云フコトヲ申シ兼ネル點ガアルノデアリマスルガ、大體ノコトヲ申上ガマルト云フ政府ノ案ニ於キマシテハ其礎控除額ガ稍<sup>レ</sup>低キニ過ギル、成ルベク所得稅ハ國民ニ廣ク負擔セシムルト云フ趣旨ハ結構デアルケレドモ、最近ノ經濟界ノ狀況等カラ見マシテ、ドウシテモ政府ノ案ハ基礎控除額ガ聊カ低キニ失スル、斯ウ云フコトカラ致シマシテ、多少引上ガルト云フコトニナツタラウカト存ジマス

キマシテ、配當利子ノ支拂ヲ受クル者ガ一  
體保険料ヲドレ程拂込ンデ居ルカト云フコ  
トヲ調査スルト云フコトハ實際上不可能カト  
存ズルノデアリマス、從ヒマシテ配當利子  
所得ダケハ是ヨリ除外シタコト存ジマス  
○河田烈君 其ノ點ハ能ク了承致シマシタ  
ガ、サウスルト勤勞所得モ同様デハナイデ  
スカ

○政府委員(大矢空次郎君) 勤勞所得モ源  
泉デ課税スル趣旨ニ於テ同様デゴザイマス  
ルシ、ソレカラ政府ノ案ニ於キマシテ、生  
命保険料ヲ控除シナイト云フコトニ致シテ  
居ル理由モ亦ソコニアツタノデアリマス、鑑  
給ノ支拂者ニ於テ税ニ相當スル分ヲ源泉デ  
徵收シテ納付スルト云フ場合ニ家旅控除ノ  
計算ヲスルダケデモ相當ノ手數ト思ヒマス  
ガ、更ニ各自ニ就キマシテ區々ニナッテ居  
ル保険料ノ金額ヲ計算シテ控除スルト云フ  
ノモ、ナカニ實行上仕事ノ負擔ガ重イト存  
ジマシテ之ヲ廢止スルコトニ致シテ居ルノ  
デアリマスガ、衆議院ニ於キマシテハ少クス  
トモ勤勞所得ニ付キマシテハ實行シ得ナクス  
コトハナカラウト云フ趣旨ヲ以チマシテ斯  
ウ云フ修正ニナックタ次第デゴザイマス

○子爵大河内輝蔵君 今ノ問題ガ御濟ミニ  
ナリマシタラ後デ私ニチヨクト……

○河田烈君 今ノ御答辯ノ趣旨ハソレデ  
ジルト思ヒマスガ、是ハサウスルト勤勞所  
得額ニ於テハ但書ノ「税額ヨリ保険料ノ百分  
ノ六相當額ヲ控除スルノ方法ニ依ルコト」是  
デ行クカラ可能ダト云フコトニナリマスカ  
マシテ、結局大體所得金額ヨリハ寧ロ税額

○政府委員(大矢空次郎君) 之ヲ實行政シ

○河田烈君 マア理窟ヲ言ヒマスト、斯ウ云フ方法ガアルナラバ配當利子所得モ亦同様ニ途ガアルノデヤナイカト云フ議論モ出来マセウガ、ソレハ勤勞所得ト較ベテ大分實行ノ難易ガアルト云フコトハ私モ認メマスノデ、是ハ政府ノ原案ヂヤゴザイマセヌノデ是以上ハ別ニ御質問致スコトヲ止メマス、次ニ移リタイト思ヒマスガ、大河内子爵ハ第三ニ付テ何カ……

○子爵大河内輝麿君 今ノ問題デ、是ハ或時期ニ私同ハフト思シテ居ツクノデアリマスガ、今河田君カラ質問ガ出タノデアリマスガ、是ハ政府ガ非常ニヤカマシク言ツテ居ツタノデスガ、譯モナク讓ツテシマッタノデ、ソコノ意味ガ私ハ能ク分ラヌ、理窟カラ云ヘバ當然宜イコトデアリ、唯、手數ガ面倒ダカラト云フノデ政府ハ非常ニヤカマシク言ツテ居ラレル、デスガヒヨット讓ツテシマハレタ所ヲ見ルト、ソンナラ初メカラ……何カ苦情ヲ言フヤウデスケレドモ、如何ニモ立法ノ趣旨ガ餘リニ輕々ニ考ヘラレタヤウニ取ラレルノデスガ如何デセウ

○政府委員(木村正義君) 此ノ生命保険ノ保険料ノ控除デアリマスルガ、是ハ衆議院デ少額所得者ノ方面ガ此ノ稅制ノ上ニドウモ十分デナイ、其ノ方ノ救濟ニ付テ十分デナイ、負擔ガ重イ、斯ウ云フ議論ガ各派ニ起リマシテ、サウシテ此ノ生命保険ノ保険料ノ控除ト云フコトハドウシテモ實行シテ

貴ハナクテハ困ル、斯ウ云フ主張ガアリマシテ、從ツテ政府トシテハ只今主税局長カラ申上ゲマシタヤウニ、實行上相當困難ハアルケレドモ、併シ一面又扶養控除ノ制度モ設ケテ居ルシ、扶養控除ノ制度ニ準ジテ生命保険料ノ二百圓以下ヲ控除スルコトガ出来ルヂヤナイカ、斯ウ云フ議論モアリマシテ、政府デハ實行ノ上ニ非常ナ困難ハアルケレドモ、不可能デハナイ、斯ウ云フ意見ヲ申シマシテ、結局衆議院ニ於テハ從來通り二百圓以下ノ保険料ハ社會政策的ノ意味ニ於テ是非控除シテ貴ヒタイ、斯ウ云フ意味デ實ハ是ガ修正ニナツタ次第アリマスリ、子爵大河内輝耕君、意見ヲ申述ベタノハ甚ダ恐縮デシタガ、誠ニ是ハ政府ガ讓歩サレタノハ、寧ロ政府ノ雅量ヲ私ハ稱讚スルニ吝デハナイデスガ、序ニ主税局長ニ伺ヒマスガ、是ハ法文ハドヨガ直ツテ居リマスカ、法文ヲ御指摘願ヒタイ

○政府委員(大矢半次郎君) 第二十六條ノ二ト致シマシテ「自己若ハ家族又ハ其ノ相続人ヲ保険金受取人トスル生命保険契約ノテ命令ヲ以テ定ムル金額ノ百分ノ六ニ相當スル金額ヲ不動産所得、事業所得、勤労所得又ハ山林ノ所得ニ對スル分類所得稅額ヨリ控除ス」

○子爵大河内輝耕君 コンナニ色々ナモノカラ御除キニナルナラ、今ノ河田委員カラ御話ニナルヤウニ配當所得ダツテ宜ササウナモノデスガ、ドウシティケマセヌカ

○政府委員(大矢半次郎君) 不動產所得、事業所得、山林ノ所得ハ總テ稅務署デ調查シテ賦課決定スルノデアリマスガ、是ハ從

來ノ第三種所得ノ賦課決定ノ方法手續ト同様デゴザイマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ保険料ノ控除ト云フコトハ別ニサウ支障ヲ來サナインデアリマスガ、問題ハ源泉徵収ニ係ル分デアリマシテ、甲種ノ勤労所得及甲種ノ配當利子所得ニ付テデアリマス、殊ニ甲種ノ配當利子所得ニ於キマシテハ、一人ニシテ何箇所カラモ配當利子ヲ受クルト云フコトガ澤山アルノデアリマシテ、一例ヲ舉ゲテ見マスルト云フト、大會社ニ於キマシテ數萬人ノ株主ガアル、其ノ各株主ニ付キマシテ保険料ヲ幾ラ拂込ンデ居ルカト云フコトヲ調査致シマシテ、配當利子支拂ノ際ニ此ノ配當利子稅ヨリ差引クト云フコトハ實行不可能ト申上ゲテ宜イカト思フノデアリマス、勤労所得ニ付キマシテハ一人ニテ數箇所、或ハ十數箇所ニ勤務シテ居ル、サウ云フ數多クカラ給料ヲ受ケルト云フ例ガ極メテ稀デゴザイマスカラシテ、餘程程度ノ差ガアルト存ブル次第デアリマス  
○子爵大河内輝耕君能ク分リマシタガ、是ハ戻税ニシテモ宜イデヤナイカト思ヒマスガ、イケナイノデ斯カ、源泉トシテ取ツテ置イテ後カラ保険フコッチカラ拂フト云フ證據ガ立ッタラ戻シテモ宜イデヤナイノデセウカ  
○政府委員(大矢半次郎君) ソレモ一應考ヘラレマスケレドモ、是ハ兎ニ角納稅者ノ數ガ頗ル多イノデアリマシテ、翌年ニナリマシテ、斯ウ云フ戻税ノ制度ヲ致シマスト、其ノ爲ニ非常ニ煩鎖ナ手數ヲ要スルノデアリマス、從來モ第二種所得稅ト致シマシテ、公社債、銀行預金等ニ付テハ別ニ綜合保險料ノ控除ハ致シテ居ナカツタノデアリマスガ、此ノ度ハ更ニ配當ニ付テモ賞與ノ控除

ヲシナイコトニシタ程度デアリマシテ、大體此ノ配當利子ニ付キマシテハ從來トサウ著シク變ツテ居ナイト存ズルノデアリマス、要スルニ此ノ度ノ分類所得稅ノ制度ヲ取りマシテ、源泉徵收ノ道ヲ開イタツノ眼目ハ、徵收ノ手續ヲ簡易ニスルト云フ趣旨デアルノデアリマス、仰セニナリマシタヤウナ制度ヲ採リマスルト殆ド源泉徵收ヲスルト云フ方法モ大部分失ハレテ來ルデハ、ナカラウカト思フノデアリマス

○河田烈君 其ノ次ノ四ノ分類所得稅ノミノ賦課ヲ受クル者ニ付テノ一割控除ノ問題ハ、是ハ今迄配當所得ニ付テハ二割控除シタモノヲ全部全額ニ課稅スルノハ急激デアルカラ一割程度ヲ引イテ置カウト云フコトニ單ニ止マルノデアリマスカ、分類所得納稅者ノ一割ト云フコトト綜合課稅ヲ受ケル者ノ借入金ノ利子ノ控除ト云フコトト何カ力關聯ガアルノデアリマスカ、別ニ深イ關聯ハナイノデアリマスカ

○政府委員(大矢空次郎君) ドウモ衆議院ノ修正ノ意思ヲ忖度スルコトニナリマシテ實ハ明確ニ修正ノ理由ヲ伺ッタ譯デハゴザイマセヌガ、大體ニ於キマシテ綜合所得稅ノ賦課ヲ受クル者ニ付キマシテハ、借入金ノ利子ハ經費ニ見ルト云フコトニナッテ居ルガ、分類所得稅ノ課稅ノミヲ受クル者ニ付テハ其ノ點ノ考慮ハ拂ハレテ居ナイ、一面ニ於テ政府ノ原案通り致シマシテ、他ノ事業所得、或ハ不動產所得等ニ付キマシテハ基礎控除ヲ引上ゲ、免稅點ヲ引上ゲルト云フコトニ致シテ居リマス關係上、配當所得ニ付キマシテモ分類所得ノ課稅ノミヲ受クル小額所得者ニ付テハ考慮シナケレバナラヌデハナカラウカ、又從來二割控除シテ課

税ヲ受ケテ居ルト云フ事實モアッタカラシテ、ソレ之ヲ併セテ考ヘテ見ルト、少クトモ分類所得税ノミヲ納ムル者ニ付テハ此ノ程度ノ負擔輕減ヲ必要トスル斯ウ云フ趣旨カト存ジマス

○河田烈君 チヨット目ノコ勸定デスガ、餘リ衆議院ノ修正ヲ深ク伺フノハ御氣ノ毒用ト思ヒマスガ、綜合課税ヲ受クル者ノ費用トシテ引カレル借入金ノ利子ト云フコトヲ考慮ニ置クト、小額配當所得者ノ分類所得ノ分ノ一割控除ガ寧ロ引キ方ガ少イヂヤナカニカト云フ氣ガシマスガ、是ハ深ク是以ト入リマセヌデ止マス、ソレカラ第五ノ此ノ所謂看做所得、之ニ付キマシテハ先般何カノ機會ニ御答辯ガアツタト思ヒマスカラ、別ニソレ以上質問ハ致シマセヌガ、茲デ辯點ヲ生ジマスノハ、政府ノ原案ノヤウニ全部之ヲ分離シテ一般ノ累進税率ヲ適用スルコトニナレバ、是ハ一つノ方法デ、之ヲ既ニ所謂看做所得ニ付テ五分五乗ト云フ言葉ヲ使シテ居リマスガ、五分五乘ノ方法ヲ採ルト問題ガ起シテ來ルノデ、五分五乗ガ宜イカニ十分十乗ガ宜イカト云フ程度ノ問題ガ起シテ來ル、是ハ假ニ衆議院ノ修正デ五分五乗ニ決リマシタコトヲ以テ見マシテ、此ノ結果ハ修正案ニ依シテモ増減ガ百八十三萬六千圓デ、大シタ違ハナイヤウニ思フ、サウナルト政府原案ノヤウニ是ハ主義ガ五分五乗スルトカ、シナイトカ、其ノ儘分離シテ一般ニ累進スルトカ、主義ガ違ヒマスカラ、茲ニ於テ見ルト大シタ差デハナイノヂヤナム、政府原案通りニシテ置イテモ、之ヲ五分五乗ノ程度ニシナクトモ、納稅者ノ負擔ハ年イカト思ヒマスガ、如何ナモノデセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ其ノ會社ノ解散、又ハ合併ト云フノデゴザイマシテ、大キナ會社ガ解散スル、或ハ合併スルト云フ場合ニハ金額ガ大キイモノハ出テ來マスケレドモ、サウデナイ場合ニハ餘り金額ガ出テ來ナイノデアリマシテ、政府ノ當初ノ案ニ依リマシテモ看做配當ニ依ル課稅ノ總額ハ三百六十七萬二千圓ニナツテ居リマス、之ニ對シテノ減デアリマスカラシテ、割合ニ致シマスルト相當ノ減ニナル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○河田烈君 成ル程只今ノ質問ハ總額ノ方ヲ質問致シマシタノデ、御趣旨ハ分リマシタ、六、七ハモウ伺フコトヲ止メルコトニ致シマセウ、又次ノ二「法人稅」、法人ノ臨時利得稅、營業稅」、是ノ内是モ「前三年内(政府原案前一年内)」はハ丁度前ノ所得稅ノ六百圓ヲ七百二十圓ニシタト同ジデ、類例ガ伴ハナイノデ伺フコトヲ止メマス、營業稅ノ新聞紙法ニ依ル出版ノ全部ニ免稅スルコト、是ハ政府ハ原案ヲ御提出ニナツタ場合ニ於テ、是ハ金ハ大シタコトデハナイト思ヒマスケレドモ、餘程御自信ガアッタト思フノデスガ、又此處ニ御讓リニナリマシタガ、ドンナ論議ガアリマシタノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 新聞紙法ニ依ル出版ヲ從來全部營業收益稅ヲ免稅シテ居ツタノデアリマスガ、是ハ免稅ノ趣旨ハ無論日刊新聞ノ如キモノヲ主トシテ考ヘテ居タカト思フノデアリマス、從ヒマンテ只今新聞紙法ニ依ツテ出版シテ居ルモノニ於テモ、之ヲ全部免稅スルノハ如何ナモノト存ジマシテ、新聞紙法ニ依ル保證金ノ納付ニ付キマシテ、發行ガ月三回以下ノ場合ト、三回ヲ超エル場合ニ於キマシテ

○河田烈君 大シタ問題デナイト思ヒマス  
カラ、其ノ點ハ別段伺ヒマセヌ、第三ノ特別法人、之モ一、二、三…ハ少シ違ヒマスケレドモ、大體矢張リ程度ノ問題ダト推量致シマシテ伺フコトヲ差控ヘマス、唯特別法人稅ノ賦課ヲ臨時的ノモノニ衆議院ガ修正シタノデアリマスガ、是ハ「特別法人稅」ノ賦課ハ支那事變終了ノ年ノ翌年末迄ニ終了スル事業年度分限リ廢止スル旨ノ明文ヲ設クルゴト」、斯ウ云フ適用ニナッテ居リマスケレドモ、是ハ政府ハ當初カラ矢張リ明文ニアリマセヌノデシタガ、支那事變終了ノ年迄位ノ一時的ノモノダト先般何カノ答辯ニ左様ナ口吻ガアリマシタノデアリマスガ、當初カラサウ云フ御考デアツノデスカ、特別法人ト他ノ法人、竝ニ他ノ事業所得者トノ權衡カラ此ノ程度ノ特別法人稅ハ課シテ然ルベキモノトシテ恒久稅トシテ考ヘタノデアリマスカ、當初カラ第四ノヤウナ考ヘ方デアルカ、明文ハナカツタガ、斯ウ云フクトデゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 政府ノ提案ニ於キマシテハ法文ノ中ニ八期限ヲ切ッテ居ナイノデアリマス、當分ノ内ト云フコトモナイ

ノデアリマスガ、提案理由書ノ中ニ、其ノ趣旨ノコトガアリマシテ、「一般國民負擔ノ増加ニ伴ヒ産業組合、商業組合等ノ特別ノ法  
人ニ對シテモ時局ニ顧ミ當分ノ内應分ノ負擔ヲ爲サシムルカ爲斯ウ致シテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ「當分ノ内」ト云フコトハドウ云フコトデアルカ、何時ニナッタラ之ヲ廢止スルノデアルカ、將來減稅シ得ル時期ガ來タナラバ、先づ第一ニ之ヲ廢止スル積リダ、斯ウ云フコトヲ御答ヘシテ居タ次第デゴザイマス

○河田烈君 サウスルト大分今回普通ノ恒久的歲入ニ御組替ヘニナツタカノ如ク見エル中ニハ種類ガアルノデスカ、例ヘバ建築稅法、チョット先般問題ニナリマシタ遊興飲食稅等ハ此ノ理由書ニ當分ノ内云々ト云フコトガアリマセヌカラ、考究ノ結果、恒久ト云フコトニナリマスガ、但シ此ノ特別法人稅ダケハ矢張リ當初カラ當分ノ内、臨時的ノモノ、是ハ議論ハ別ト致シマシテ、サウ云フ御考デアタカト解釋スルノデアリマスガ、私共ノ考トシテハ權衡上之ニ限りマシテ「當分ノ内」トセラレル理由ニ乏シイト思ヒマスガ、是ハ議論ニナリマスカラ、此ノ點政府ノ御考ヲ伺フコトヲ止メマス、甚ダ揚ガ足ヲ取ルヤウデアリマシテ、恐縮千萬デアリマスカラ……建築法、入場稅、遊興飲食稅ト肩ヲ並ベテ全部是ハ矢張リ租稅ノ經常部ニ計上セラレテアツテ、支那事變特別稅法ヲ改正シテ當分セラレタ、サウ云フ二ツノ種類ノモノガズツト所謂經常部ニ掲ゲラレテ居ルト云フコトハ是ハ體ヲナサヌ

ト思ヒマスケレドモ、是ハ議論ニナリマスカ  
ニ、揚ダ足ヲ取ッタヤウニ聽エテハ惡ウゴザ  
イマスカラ、ソレ以上御伺ヒ致シマセヌ、ソ  
レカラ四ノ相續稅、ソレカラ五ノ地租法、之  
ニ付キマシテハ矢張リ一ツノ程度問題デア  
リマスカラ、更ニ伺フコトヲ差控ヘマス、ソ  
六ノ酒稅法ニ付キマシテハ先般質問應答ガ  
アリマシタカラ、ソレ以上伺フコトヲ差控  
ヘマス、ソレカラ第七ノ物品稅、是ハ原案ニ  
ハ高等綠茶、綠茶ノ高級品ガ中ニ入ッタト思  
ヒマスガ、之ヲ御除キニナッタノハ政府ノ御  
同意ニ依ル譯デアリマセヌガ、寧ロ原案ノ  
方ガ適當……石鹼、齒磨、紅茶スラ入ッテ居  
リマスガ、今日ノ状況ニ於テ紅茶ト高級ノ  
綠茶トヲ比較シマシタナラ、上級品ノ綠茶  
ノ方が贅澤品ノヤウニ思ハレマスガ、是ハ  
何カ政府ニ於テハ特別ノ御理由ガアルノデ  
アリマスカ

ハアリマセヌノデ、十分尊重シテ、他トノ  
均衡ヲ圖リナガラ、或程度以上ノ物、即チ  
綠茶等ニ於キマシテハ相等高級ノ物ダケニ  
課税ショウツ云フ趣旨デ提案致シタノデア

ス  
リマスルが、衆議院ニ於キマシテハ、前ニ  
申述ベタヤウナ趣旨ヲ以チマシテ、之ヲ削  
除スルト云フコトニ致サレタ次第デアリマ

高級ノ綠茶ニ對シテハ私共ノ考デハ政府ノ  
原案ノ方ガ、チョット考ヘル所デハ、至極適  
當ノヤウニ思フノデアリマスガ、高級綠茶  
ニハ課稅シナイ方ガ宜イト云フ理由ガ、今  
ノ御答辯デハ別ニナイヤウデアリマスガ、  
ナイノデアリマスカ

マシテハ、大體論ト致シマシテ、綠茶八日  
本ニ於テハ、一般大衆ノ飲ムモノ、デ生活必需  
品デアル、斯ウ云フ物ニ課税スルノハ宜シ  
クナイ、十把一束ニ言シテ居ラレルヤウデ  
アリマス

○河田烈君 議論ハ議論トシテ、是以上伺  
フコトハ止スマス、其ノ次ニ入場税ノ方デ、  
撞球場ニ限シテ百分ノ十二引下ゲタノハ、撞  
球場ハ最モ民衆的娛樂場デ第一種ニ屬スペ  
キモノダト云フヤウナコトカラ來タノデゴ  
ザイマスカ

○政府委員(大矢次郎君)　是ハ近頃勞働者等モ相當收入ガ良イモノデアルカラシテ、色々濫費ニ馳ルヤウナ傾向ガアル、從ヒマシテ之ヲ匡正スル爲ニ、其ノ一日ノ勞ヲ慰メル爲ニ撞球場ニ行クノハ寧ロ獎タク方ガ宜イノデハナカラウカト云フ趣旨ヲ以チマシテ、工場方面等ニ於テハ現ニサウ云フ風ニ指導シテ居ル、斯ウ云フ者ニ對シテ百分

ノ二十ノ税率テ課稅スルノハドウモ酷ニ失  
スル、斯ウ云フ意見方強イヤウデゴザイマ  
シタ

消費セズシテ娛樂セラル、モノデアルカラ  
安クシタト云フノハヲカシイノデアリマス  
ガ、輕減スルト云フ趣旨デアルト想像致シマス、ソレニ付キマシテハ矢張リ程度ノ間

トニ致シマス、ソコデ第三段ニ、極メタ  
小サイコトヲ伺フノデ恐縮千萬デスガ、  
政府委員ニ此ノ機會ニ序デニ伺ヒタイト  
思ヒマス、是亦決シテ揚ゲ足ヲ取ルノヂ  
ヤゴザイマセヌカラ、惡ク御取りリ下サラ  
スヤウ希望致シマス、大變前提ガ長クナ

ノ正誤ヲ戴キマシタ、正誤ヲ戴カナケレバ、全然氣ガ附カナカツタノデアリマスガ、正誤ヲ戴キマスト、一頁ノ六行目「罰金額ガト云フ風ニ假名ニ濁リガ打ッテアルノヲ「カ」ト直サレテ居ル、法律ニハ濁リヲ附ケルガ附ケナイカ、ソンナコトハ從來餘リ留意シテ居リマセヌシタガ、次ニ正誤サレテ濁リガ附カナイコトニナツタノニハ何カ特別ノ意味ガアルノデスカ、チヨット二三ノ同僚ニ聞イテ見タノデスガ分リマセヌノデ、法制上ノ御答辯ヲ主税局長ニ願フノハ惡イカモ知

○政府委員(大矢半次郎君)　是ハ要スルニ  
現行法ハ其ノ制定ノ時期ガ違フノデ、從テ  
各法律ニ於キマシテ用例ガ區々ニナツテ居ル  
ノデアリマス、從ヒマンテ全文ノ改正スル  
場合ニ於キマシテハ、最近ノ用例ニ依ルノ  
デアリマスルガ、一部ノ條項ヲ改正スル場

合ニ於キマシテハ、其ノ各稅法ニ使ツテ居ル用例ニ做フ、斯ウ云フ結果ト致シマシテ、今御質疑ノヤウナモノガ出テ來ル譯デゴザイマス

○委員長 伯鶯林博士(郎君) 河田君ニ伺ヒ  
マスガ、未ダ暫ク掛リマスカ  
○河田烈君 イ、エ、是デオシマヒデゴザ  
イマス、大變細カイコトヲ伺ヒマシテ恐懼

リガナクテ、「へ」ニハ濁リガアルト云フヤシ  
ウナ從來ノ用例デアルノデ、ソレヲ直シタ  
ト云フ單純ノ意味ナシデスネ

午後一時四十二分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) はヨリ午後ノ  
會議ヲ開キマス、齊村君

○野村徳七君 大藏大臣ニ御尋ヲ致シタイ

アルカト云フ問題ヲ先ヅ伺ヒタイノデス、

此ノ問題ハ衆議院モ屢々論議サレマシタ  
ヤウデモアリマスシ、ヒソ委員會モ賛成

モアリマシタノデアリマスガ、私ノ伺フ所

ノ或部分ヲ負擔スル、併シソレハ經濟界ニ

著シイ變動ノナイ程度ニ於テ考慮スル、ソレカラ又「インフル」防止ノ役目モアル、斯

ウ云フ風ニ承ツタノデアリマスガ、ドウモマ

靴搔痒ノ感ガアルノデアリマスガ、今一應

此ノ増税ノ目標ニ付テ御説明云々願ビタイン  
デアリマス

○國務大臣（櫻内幸彌君）此ノ度、税制ヲ

改革致シマシタ目標ハ、豫テ申上ゲマシタ  
通り、四大眼目ヲ以チマシテ、即チ負擔ノ  
均衡、經濟政策ニ即應スルコト、增收及擔  
稅彈力性ヲ持タシメルコト、ソレカラ稅制  
ノ簡易化、斯ウ云フコトヲ目標ニ致シテ居  
ルノデアリマスガ、其ノ申ノ増稅ノ目標ヲ  
何處ニ置クカト云フコトニ付キマシテハ、  
度々申上ゲマス通リ、日本ノ今日ノ財政狀  
態ガ非常ニ年々巨額ノ費用ヲ要スルヤウデ  
アリマシテ、其ノ費用ヲ現在ノ國民トシテ  
負擔ヲ出來ルダケスル事柄ガ必要デアルト、  
斯様ナル見地カラ此ノ增收ヲ計畫致シタノ  
デアリマス、而シテ其ノ目標ト致ス所ハ何  
處ニ置イタカ、斯ウ申シマスト云フト、其  
ノ大體ノ見當ハ大凡現在ノ一、三割程度ノ  
增收ヲ目標トシテヤッタノデアリマス、而シ  
テ左様ナル増稅ヲ致スコトガドウ云フコト  
ヲ意味シテヤッタカト、斯ウ云フコトデアリ  
マスナラバ、申ス迄モナク此ノ増稅ニ依ッテ  
戰費ノ一部分ノ負擔ヲ爲スコト、又今回發  
行致ス所ノ、年々發行致ス所ノ公債ノ利拂  
若シクハ其ノ元本償却ト云フコトヲ考慮致  
シマシテ、他ノ增收ト合セテ此ノ問題ニ對  
應スルヤウニ考慮致シタノデアリマシテ、  
此ノ增稅ニ依ッテ全部ノ戰費ノ幾分ヲ負擔  
スルト云フ事柄モ、全然舍マレテ居ナイ譯  
デアリマシテ、只今申ス通リ此ノ增稅ニ依  
リマシテ公債ノ元利償還ニ對シマシテ考慮  
ラシ、又一部戰費ノ負擔ヲスルコトヲモ考  
慮致シマシテ、併セテ現在ノ稅制ヲ根本的  
ニ改正シテ、先ニ申シマス通り一面ニ於テ  
簡易化ヲ圖リ、一面ニ於テ負擔ノ均衡ヲ圖

リ、同時ニ經濟政策ニ即應スルヤウナコトヲ致シタ、斯様ナル考ノ下ニ今回ノ稅制改革案ヲ提案致シタ譯デアリマス

○野村德七君

負擔ノ均衡ト云フコトモ之ニ依シテ計ラレ、又公債ノ元利償却ト云フコトヲ考慮スルト云フコトヲ伺ヒマシタノ

デ、大變益結構ニ存ジマス、次ニ伺ヒタイノハ、此ノ經濟界ニ著シイ變動ヲ與ヘヌヤウニ考慮シクト、斯ウ云フ御説明ガアツタノデアリマスガ、此ノ增稅案ノ實收五億圓ト云

フモノガ大體ニ於テ決定サレマシタノハ、

昨年ノ春カラ夏ニ掛ケテノコトデアッタヤ

ウニ承知致スノデアリマス、當時ノ經濟界ハ割合ニ好調デアリマシテ、若干ノ物資ニ

不足ハアリマシテモ、產業界ノ基調ニハ別

段ニ憂慮スペキ事態ハアリマセズ、又產業

界ヲ通ジマシテ大體ニ收益モ増加ノ傾向ニ

アリマシテ、國民生活モ、一部不急產業ニ

從事セラル、者ノ生活困難ハ認メラレマシ

テモ、全體トシテハ寧ロ購買力ノ汪溢ガ

「インフレ」ヲ促進スル素因トシテ、憂慮サ

レタ狀態ニ置カレテアツタノデアリマス、

從テ當時ハ五億圓ノ增稅モ、左程經濟界ハ

重視セナカツタノデアリマス、又一般國民モ米

業會社ハ原料ノ配給減、石炭不足、動力制

限等ニ依リマシテ、其ノ後可ナリナ打擊ヲ

受ケテ居ルノデアリマス、又一般國民モ米

價ノ引上げ、木炭其ノ他生活必需品ノ闇相

場ナドニ依リマシテ、物價指數ニ現レテ居

ル以上ニ困難ノ度ヲ増シテ居リマシテ、生

活ノ餘裕ト云フコトニ對シテハ大分ニ失ハ

レテ參ツタヤウナ狀況デアル、此ノ點ニ於テ

著シク此ノ計畫ヲ立テラレタ時トハ、社會

情勢ガ相違ラ來シテ居ルト思フノデアリマ

ス、無論此ノ今度ノ稅法ト云フモノハ、相

當ナ餘裕モアリマシ、所謂彈力性ト云フ

モノヲ増シテ居ラレルシシマスカラ、今後

ノ情勢ニ依シテ色々ナ加減ヲ之ニ加ヘテ行

クコトハ勿論ト思ヒマスガ、併シ當時妥當

デアツタ增稅額モ、今日デハ事業界竝ニ一般

國民大衆ニ、可ナリ深刻ナ負擔ヲ負ハシテ

居ルト云フコトデナイカト考ラレルノデア

リマス、一言ニシテ申シマスレバ、最近ノ

經濟事情ニ即シテハ、少シ增稅ノ程度ガ

行キ過ギタノデハナイカト云フヤウニ申シ

テモ宜イヤウナ感ジガスルノデアリマス、

御答フ願ヒタトイ思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君)

今回ノ增稅案ノ確定致シマシタノハ、昨年ノ十一月デゴザ

イマス、而シテ只今御話ノ如ク日本ノ經濟

界ガ昨年ノ暮アタリカラ、電力ノ不足或ハ

物資ノ不足等ニ付キマシテ、從來ト異ダタ情

勢ヲ現出致シテ居ルコトハ、只今野村サン

ノ御話ノ通リデアリマシテ、先月ノ末今月

ノ初メ迄ハ、電力ノ不足ノ爲ニ有ラユル階

級、有ラユル事業ニ尠カラザル影響ヲ與ヘ

テ居ルコトモ、是モ其ノ通リデアリマス、

是ハ全ク電力ハ、天候其ノ他ノ關係ニ依リ

マシテノ不足ガ原因致シテ居ルノデアリマ

シテ、我々モ非常ニ心配致シタノデアリマ

スガ、漸ク昨今ニナリマシテ全部其ノ不安

ガ解消シツ、アルヤウナ譯デアリマス、此

ノ點カラ生ズル所ノ不安ハ、遠カラズ解消

セラレルモノト考ヘテ居リマス、併シナガ

ト云フヤウナ結果ガ生ズル懸念ガ相當多分ニ

大半ハ、半バ以上ハ稅金ニ納メテシマフノ

ノデハナイカト云フ、斯ウ云フ御心配ニ付

キマシテハ、私共モ昨年ノ十二月、本年ノ

一月二月アタリノ情勢ヲ見マシテ、深キ關

心ヲ持ツテ注意致シテ居ツタノデアリマス

ガ、併シ今日現在ノ情勢カラ見マスト云フ

ト、此ノ程度ノ增稅ヲ致シテモ、ソレガ何處に於ケル、其ノ爲ニ色々ナ方面デ租稅ヲ納メナ

タルヤウナ譯デアリマス、ソレハ脫稅ヲヤルト

ガラ經濟界ヲ順調ニ導クコト、經濟界ノ發

展ヲ圖ルコトニ付キマシテハ政府ト致シマシテモ、出

來ル限リ之ガ對策ヲ講ジタイト考ヘテ居ル

ノデアリマス、米價ノ問題其ノ他の問題ニ

ノ考ヘテ居ル次第デアリマス

○野村德七君

前ニ御尋ネシマシタ狀況ニ

付キマシテハ、大臣モ非常ニ御考慮ニナツ

テアリマシテ、肥料ノ原價ヲ、供給價格ヲ上

ゲナイトカ、或ハ生產スルモノニ對シテ應

分ノ助成ヲ致ストカ云フヤウナ手段ヲ執ツ

テアリマシテ、也特别ノ考慮ヲ加ヘマシテ、サウシテ其ノ

價格ヲ上ゲシメズシテ、增產ノ出來ルヤウ

ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尤モ全面的ニ

戰時下ニ於ケル、所謂戰時下ノ適正價格ト

云フモノヲ考ヘテ決定ヲ致サナケレバナラ

スコトハ固ヨリデアリマス、其ノ點ニ付キ

マシテハ尙經濟上ニ於テ幾多考究スベキ點

ガゴザイマスガ、大體ニ於テ今日ハ、經濟

界ニ於ケル一番ノ受難時代デアルト考ヘル

ノデアリマスケレドモ、是カラハ順次整

理ガ出來テ、又統制經濟モ其ノ緒ニ就テ

來ルト考ヘマスノデ、サウ大ナル打擊ヲ與

ヘルヤウナモノデハナカラウト考ヘテ居ル

ノデアリマス、昨年ノ八九月頃迄ハ、今回

ノ增稅モ餘り苦ニナラナカツタガ、今ノ經濟

狀態ニ於テハ是ガ少カラズ打擊ヲ與ヘルモ

ノデハナイカト云フ、斯ウ云フ御心配ニ付

キマシテハ、私共モ昨年ノ十二月、本年ノ

一月二月アタリノ情勢ヲ見マシテ、深キ關

心ヲ持ツテ注意致シテ居ツタノデアリマス

ガ、併シ今日現在ノ情勢カラ見マスト云フ

ト、此ノ程度ノ增稅ヲ致シテモ、ソレガ何處に於ケル、其ノ爲ニ色々ナ方面デ租稅ヲ納メナ

タルヤウナ譯デアリマス、ソレハ脫稅ヲヤルト

ガラ經濟界ヲ順調ニ導クコト、經濟界ノ發

展ヲ圖ルコトニ付キマシテハ政府ト致シマシテモ、出

面カラ最大ノ努力ヲ致シテ行キタイト、斯

様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○野村德七君

前ニ御尋ネシマシタ狀況ニ

付キマシテハ、大臣モ非常ニ御考慮ニナツ

テアリマシテ、肥料ノ原價ヲ、供給價格ヲ上

ゲナイトカ、或ハ生產スルモノニ對シテ應

分ノ助成ヲ致ストカ云フヤウナ手段ヲ執ツ

テアリマシテ、也特別ノ考慮ヲ加ヘマシテ、サウシテ其ノ

價格ヲ上ゲシメズシテ、增產ノ出來ルヤウ

ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尤モ全面的ニ

戰時下ニ於ケル、所謂戰時下ノ適正價格ト

云フモノヲ考ヘテ決定ヲ致サナケレバナラ

スコトハ固ヨリデアリマス、其ノ點ニ付キ

マシテハ尙經濟上ニ於テ幾多考究スベキ點

ガゴザイマスガ、大體ニ於テ今日ハ、經濟

界ニ於ケル一番ノ受難時代デアルト考ヘル

ノデアリマスケレドモ、是カラハ順次整

理ガ出來テ、又統制經濟モ其ノ緒ニ就テ

來ルト考ヘマスノデ、サウ大ナル打擊ヲ與

ヘルヤウナモノデハナカラウト考ヘテ居ル

ノデアリマス、昨年ノ八九月頃迄ハ、今回

ノ增稅モ餘り苦ニナラナカツタガ、今ノ經濟

狀態ニ於テハ是ガ少カラズ打擊ヲ與ヘルモ

ノデハナイカト云フ、斯ウ云フ御心配ニ付

キマシテハ、私共モ昨年ノ十二月、本年ノ

一月二月アタリノ情勢ヲ見マシテ、深キ關

心ヲ持ツテ注意致シテ居ツタノデアリマス

ガ、併シ今日現在ノ情勢カラ見マスト云フ

ト、此ノ程度ノ增稅ヲ致シテモ、ソレガ何處に於ケル、其ノ爲ニ色々ナ方面デ租稅ヲ納メナ

タルヤウナ譯デアリマス、ソレハ脫稅ヲヤルト

ガラ經濟界ヲ順調ニ導クコト、經濟界ノ發

展ヲ圖ルコトニ付キマシテハ政府ト致シマシテモ、出

ハ、租稅トシテ取り得ベキ稅源ヲ諸方ヘ散逸サセテシマフ、斯ウ云フコトニナリハシナイカ、要スルニ増稅ガ行キ過ギタ爲ニ、ノ租稅計畫ニ對シマシテモ影響スル所ガ渺クナイ、斯ウ私共ハ考ヘルノデアリマスガ、御考慮ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 現在ノ經濟界ノ實情カラ增稅ガ行過ギテ居ハシナイカ、殊ニ事變前ト今日ト較ベテ非常ナ增稅ニナツテ居ルガ、其ノ結果國民ノ心理狀態ニ惡影響ヲ及ス點ガナイカト云フ御質問デアリマスガ、此ノ度ノ增稅ハ事變前カラ見マスト云フト、モウ數次ニ瓦ル增稅デアリマステ、相當ノ增稅ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ誠ニ國民ニ對シテオ氣ノ毒ニ感ズルノデアリマスガ、併シナガラ御承知ノ通りノ時局デアリマシテ、斯ウ云フ大事變ヲ一面ニ控ヘテ居ル場合デアリマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ眞ニ國難突破ノ爲ニ協力スルト云フ考ヲ以テ、國民ノ協力ヲ願フ外ナイト思フノデアリマス、成ル程御話ノ通り高率ノ課稅ヲ受ケラレル法人方面、又個人方面、可ナリ其ノ負擔ハ上ツテ居リマス、併シナガラ之ヲ「ヨーロッパ」ノ戰爭當時ニ於ケル、歐洲大戰ノ當時ニ於ケル所ノ歐米ノ負擔率等ニ考ヘテ見マソレニ對シテ斯様ナル重キ課稅ニ任ジテ居ヲ掛ケテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、ル譯デアリマシテ、私ハ日本ノ國民ガ甘んジテ此ノ負擔ニ堪ヘ、益發奮シテ下サルモノトス様ニ信ジテ居リマス、ソレデス様ナ高率ノ稅金ヲ課スル結果、浪費ヲ

付キマシテハ、多少耳ニ致サヌコトハナ  
イノデアリマス、即チ利益ガ澤山アル  
會社等ニ於キマシテハ、或ハ交際費トカ云  
フモノニドンヽ支出シテ、中ニハ飲ンダ  
リ食ッタリニ金ヲ費フ、又所謂締メテ行カナ  
ケレバナラヌ所ヲ締メズニ金ヲ使フト、斯  
ウ云フ風ナコトノアルコトヲ聞カヌ譯デハ  
アリマセヌガ、併シナガラソレ等ノ人々ト  
雖モ、實際時局ヲ認識シテ下サルナラバ、  
日本ノ國民性トシテ必ズソレハ次第々々ニ  
ス様ナコトハ消エテ來ルグラウト、斯ウ思ツ  
テ居リマス、勿論是ハ私個人ノ考デアリマ  
スケレドモ、今日ノ時代ニ於テ巨額ノ國費  
ノ負擔ヲシテ國ニ貢獻スルト云フコトニ對  
シテハ、國家トシテモ之ニ對シテ相當ナ措  
置ヲ執ル方法等モ必要ガアラウカト考ヘテ  
居リマス、兎ニ角今日ノ此ノ重大ナル嘗テ  
ナイ時局ニ際シマシテ、國民ガ協力ヲシテ  
下シテ、サウシテ此ノ事變ニ對シテノ負擔ニ  
對シマシテモ、甘ンジテ之ニ任ジテ下サル  
ト、斯様ニ信ジテ居ル次第アリマス、チ  
ヨット英米獨等ニ於ケル所ノ個人ノ最高稅  
率ヲ申上ゲテ御参考ニ供シタイト存ジマス、  
「イギリス」ハ八十五「ペーセント」、「アメリ  
カ」ハ七十九「ペーセント」、「ドイツ」ハ六  
十五「ペーセント」ト云フ風ナ高率ノ稅ヲ負  
擔シテ居ル譯デアリマシテ、日本ノ一番ノ  
最高ハ七十五バカリニナツテ居リマスガ、大  
合ニナツテ居ルノデアリマス、御参考迄ニ申  
上ゲテ置キマス

○國務大臣（櫻内幸雄君）　米國ガ七十九、日本ガ七十五、  
「イギリス」ガ八十五デゴザイマス、日本ガ  
七十五、「アメリカ」ガ七十九、「ドイツ」ガ  
六十五デゴザイマス

○野村徳七君　只今ノ御説明ニ依リマス  
ト、日本ノ國富ト致シマシテ、算數ノ基礎ナ  
ナドヲ十分検討シマシタラ、或ハ今日日本  
ノ國力トカ國民ノ富力トカ云フモノヲ考ヘ  
マスト、日本ガ最高峰ニ居ルヤウナコトニ  
ナルカモ知レマセヌ、併シ相當は高率ナ  
稅ヲ課セラレテ居ルト云フコトハ、モウ疑  
ナイ事實デアリマス、是ハ無論國民ノ自覺  
ニ依リ、非常時局ヲ理解シテ忍ブベキデアリ  
マスガ、政府ニ於カレマシテモ稅源ノ散逸  
ト云フコトニ付テハ、將來相當ノ御考慮ヲ  
願ヒタイト思フノデアリマス、又政府モ御  
考慮ニナルト云フコトデアリマスカラ、此  
ノ質問ハ是デ打切りマシテ、次ニ伺ヒタイ  
コトハ、政府ノ統制會社ノ決算ガ段々示サ  
レテ參リマス、又一方デハ低物價政策ヲ御  
執リニナリマスト云フコトノ爲ニ之ヲ徹底  
シマス爲ニ相當補助金ノ支出ト云フモノガアルト  
思ヒマスガ、併シ今回ノ第一次追加豫算ニ  
上ルヤウデアリマス、是ハ一面カラ云ヘバ  
政府ノ生産擴充政策ニ對シテ、失敗ヲ叫ブ  
者モアリマスシ、又ソレハ見様モアルト  
億一千六百萬圓ニシマシテモ、石炭ノ八千  
木炭、燐寸等ニ對シマスル補助金或ハ獎勵  
金、日本發送電ニ對スル損失補償金等可  
ナリ莫大ナ支出ガ餘儀ナクサレテ居ルヤウ  
デアリマス、今後モ益々此ノ經費ガ増大ス  
ル傾向ニアリト考ヘラレルノデアリマス、

ソレト今回ノ増税及ビ今後ノ自然增收ト云  
フコトニ對スル目標、又支辨ト云フヤウナ  
方向カラ考ヘテ見マスト云フト、今後ノ數  
年間ハ新規發行公債ノ利子グケデモセメテ  
賄ヒ得ルト云フ増税ガ折角茲ニ出來マシ  
テ、財政ハ誠ニ一面カラハ鞏固ナラシメテ  
居ルト云フコトヲ堂々ト言ヒ得ル立場デア  
リマシテモ、一方ニ於テ斯ウ云フ補助金政  
策ガ行ハレテ、莫大ナ支出ガ行ハレテ居ル  
ト云フコトヲ國民ガ考ヘマシタ場合ニ、此  
ノ度ノ増税ニモ可ナリ大衆負擔ト云フ措置  
モ加味サレテ居ルト云フコトデアリマス  
ガ、折角政府ガ財政ノ健全化ニ非常ニ努力  
ヲサレ、又「インフレーション」阻止作用ニ  
モ相當努力サレテ居リマスルニモ拘ラズ、  
此ノ一ツヲ對照シテ見マシタ場合ニ、可ナリ  
其處ニ國民ヲシテ失望セシタルヤウナ觀念  
ヲ起シ得ルト思フノデアリマス、ソコハド  
ウ御考ニナツテ居リマスカ

ノ上ノミナラズ、聖戰目的完遂ノ上ニドウシテモ支障ヲ起シマスノデ、此ノ低物價ヲ堅持スルコトニ付キマシテハ、如何ナル努力ヲモ拂ハネバ相成ラスト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ度ノ補助金ヲ出シテ居リマスモノハ、實ハ生活ノ必需品並ニ基本工業ノ原料、此ノ方面ニ向ヒマシテハ已ム得ズ實ハ補助金ヲ出シテ居ルノデアリマス、一般ニ戰時適正價格ト云フモノヲ拘ヘマシテ、サウシテ生産業者ガ其ノ適正價格ヲ目標トシテ各生産ヲ致スト云フ順序ニ取極メマス前ニ、其ノ根源ヲ成ス所ノ品物ガ暴騰致スト云フコトニナリマスト云フト、此ノ適正價格ヲ定メル上ニ於テモ非常ナ困難ヲ來シマスシ、同時ニ生産ノ「コスト」ガ矢張リ暴騰スルト云フ結果ニナリマスノデ、ドウシテモ此ノ基本原料ト云フモノハ安ク供給シ得ルヤウニ致サナケレバナラナイ、同時ニ生活上ノ必需品ニ付キマシテハ、何ト致シマシテモ此ノ生活ノ必需品ハ確保致サナケレバナリマセヌノデ、此ノ生活ノ必需品ガ非常ナ暴騰ヲ致シマスト、ソレガ勞銀ノ暴騰ヲ來ス、同時ニ總テノ生産品ノ原價ヲ上げルコトニナリマスノデ、是ハ何トシテモ低物價ヲ維持シナケレバナラズ、斯ウ云フ建前ニ於キマシテ、臨時の措置トシテ是等ノ助成金ヲ出スコトニ致シタノデアリマス、而シテ一日モ速カニ主ナル品目ニ付キマシテハ適正物價ヲ構成シテ、サウシテ生産業者モ安ンジテ生産ヲ爲スコトニ致スト同時ニ、物ノ値段ト云フモノヲ大體此ノ所ニ落付ケルノダト云フ、落付ク所ヲ定メテ、サウシテ經濟界ノ安定ヲ圖ラナケレバナラヌト、斯様ニ今後ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ、今回ノ臨時の措置トシテ助成金ヲ出シ

マスコトハ、之ハ眞ニ已ムヲ得ザルニ出タモノデアリマシテ、今後ニ於テ之ヲ益々増大シテ行クヤウナ事柄ハ、ドウシテモ是ハ慎マナケレバナラヌコトデアルト考ヘテ居リマス、ソレニ付キマシテハ物價問題ヲ速力ニ根本的ニ定メマシテ、サウシテ日本ノ生産業者方面デ其ノ基準トスル所ノ物價ト云フモノヲ定メサセルト、斯ウ云フコトニ致シテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス、ソレニハ併セテ消費ノ節約デアルトカ、或ハ生産ノ擴充デアルトカ云フモノヲ行ハナケレバナリマセヌノデ、旁々サウ云フコトヲ綜合致シマシテ、低物價ヲ維持シタイト考ヘテ居リマス、近ク設ケマスル物價對策審議會ニ於キマシテ、是等ノ問題ノ總ニ亘ツテ國民ノ嚮フ所ヲ定メルコトニ致シタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス○野村德七君 臨時の措置トシテ今回ノハドウモ已ムヲ得ナイト云フ御説ニ對シマシテハ、誠ニ左様デアルト存ズルノデアリマス、併シ大體物價統制ト云フコト低物價政策ノ徹底ト云フコトハ、其處ニ大キナ矛盾ガアリマスシ、同時ニ又ソレガ大キナルコトニナリマスノデ、ソレニ對シテ今後非常ニ御努力ニナル云フコトニ對シマシテハ、大藏御當局トシテハ誠ニドウモ御苦勞ノコトト存ジマスガ、此ノ事が能ク國民ニ徹底シマスレバ、今回ノコトハ臨時已ムヲ得ナリマス、折角是ダケノ大増稅ガ一方デ論議サレテ居ツテ、一方デ輕々シク大キナ金ガ出テ行クト云フコトニ對シテハ、今少シアリハスマイカト私ハ考ヘルノデアリマ

マスコトハ、之ハ眞ニ已ムヲ得ザルニ出タモノデアリマシテ、今後ニ於テ之ヲ益々増大シテ行クヤウナ事柄ハ、ドウシテモ是ハ慎マナケレバナラヌコトデアルト考ヘテ居リマス、ソレニ付キマシテハ物價問題ヲ速力ニ根本的ニ定メマシテ、サウシテ日本ノ生産業者方面デ其ノ基準トスル所ノ物價ト云フモノヲ定メサセルト、斯ウ云フコトニ致シテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス、ソレニハ併セテ消費ノ節約デアルトカ、或ハ生産ノ擴充デアルトカ云フモノヲ行ハナケレバナリマセヌノデ、旁々サウ云フコトヲ綜合致シマシテ、低物價ヲ維持シタイト考ヘテ居リマス、近ク設ケマスル物價對策審議會ニ於キマシテ、是等ノ問題ノ總ニ亘ツテ國民ノ嚮フ所ヲ定メルコトニ致シタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス○野村德七君 臨時の措置トシテ今回ノハドウモ已ムヲ得ナイト云フ御説ニ對シマシテハ、誠ニ左様デアルト存ズルノデアリマス、併シ大體物價統制ト云フコト低物價政策ノ徹底ト云フコトハ、其處ニ大キナ矛盾ガアリマスシ、同時ニ又ソレガ大キナルコトニナリマスノデ、ソレニ對シテ今後非常ニ御努力ニナル云フコトニ對シマシテハ、大藏御當局トシテハ誠ニドウモ御苦勞ノコトト存ジマスガ、此ノ事が能ク國民ニ徹底シマスレバ、今回ノコトハ臨時已ムヲ得ナリマス、折角是ダケノ大増稅ガ一方デ論議サレテ居ツテ、一方デ輕々シク大キナ金ガ出テ行クト云フコトニ對シテハ、今少シアリハスマイカト私ハ考ヘルノデアリマス、而シテ經濟界ノ安定ヲ圖ラナケレバナラヌト、斯様ニ今後ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ、今回ノ臨時の措置トシテ助成金ヲ出シ

マスコトハ、之ハ眞ニ已ムヲ得ザルニ出タモノデアリマシテ、今後ニ於テ之ヲ益々増大シテ行クヤウナ事柄ハ、ドウシテモ是ハ慎マナケレバナラヌコトデアルト考ヘテ居リマスガ、臨時利得稅ヲ廢止スル場合ニ於キマシテハ、是ハ無論此ノ法案ハ修正致サル、コトハ論ノ無イ所デアリマス、而シテ其ノ場合ト看做サル、所ノ支那事變ノ終了ノ時期ニ付テノ御話デアリマスガ、是ハ蔣政權ガ潰滅致シマシタ場合ハ、當然其ノ場合ト看做サル、所ノ支那事變ノ終了ノ時期ニ付テノ御話デアリマスガ、是ノ時期デアルノデアリマス、今日支那ニ於ケル汪政權、即チ新中央政府ガ出來タ後ニ於キマシテ、蔣政權ガ潰滅ヲ致シタト云フマスガ、其ノ前ト雖モ、汪政權ガ實際ニ於テ支那ノ統治權ヲ持ツテ、其ノ治安ヲ維持シ、總テノ政治ノ中権トナリマシテ、一切利得稅ガ設ケラレマシタ時ハ、私モ此ノ税ノ委員ノ末席ヲ汚シテ居ツタノデアリマスガ、其ノ期限ハ支那事變終了後一年ト云フコトニナッテ居リマシタ、今回モ其ノ建前ガ存續サレテ居ルヤウデアリマス、併シケレバナリマセヌノデ、旁々サウ云フコトヲ綜合致シマシテ、低物價ヲ維持シタイト考ヘテ居リマス、近ク設ケマスル物價對策審議會ニ於キマシテ、是等ノ問題ノ總ニ亘ツテ國民ノ嚮フ所ヲ定メルコトニ致シタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス○野村德七君 臨時の措置トシテ今回ノハドウモ已ムヲ得ナイト云フ御説ニ對シマシテハ、誠ニ左様デアルト存ズルノデアリマス、併シ大體物價統制ト云フコト低物價政策ノ徹底ト云フコトハ、其處ニ大キナ矛盾ガアリマスシ、同時ニ又ソレガ大キナルコトニナリマスノデ、ソレニ對シテ今後非常ニ御努力ニナル云フコトニ對シマシテハ、大藏御當局トシテハ誠ニドウモ御苦勞ノコトト存ジマスガ、此ノ事が能ク國民ニ徹底シマスレバ、今回ノコトハ臨時已ムヲ得ナリマス、折角是ダケノ大増稅ガ一方デ論議サレテ居ツテ、一方デ輕々シク大キナ金ガ出テ行クト云フコトニ對シテハ、今少シアリハスマイカト私ハ考ヘルノデアリマス、而シテ經濟界ノ安定ヲ圖ラナケレバナラヌト、斯様ニ今後ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ、今回ノ臨時の措置トシテ助成金ヲ出シ

○野村德七君 次ニ伺ヒマス問題ハ、他ノ方面カラ結局歸スル處同ジヤウナ質問ガ今日迄アツタノデアリマシテ、甚ダ恐縮致シマスガ、要スルニ法人税ノ引上ハ生産力擴充ヲ阻碍セヌカト云フ質問ニナルノデアリマス、今回法人ニ對シマシテ相當增稅ガ行ハレマシタ、殊ニ所得稅及ビ臨時所得稅ガ損金ト認メラレナイコトニナリマシタ結果、法人ノ負擔ハ大藏省ノ御計算デハ一億七千何ボト云フ増額ニナルノデアリマス、是ハドウモ餘リニ急進的デナイカ、一方デハ資金融調整法ガ嚴格ニ實行セラレテ居リマス結果……今日實際大規模ニ活動シテ居リマスノハ法人ガ大部分デアリマス、是等ハ皆現在戰時經濟ノ運營ニ重大ナ役割ヲ果シテ居ルモノバカリデアリマス、然ルニ一方急激な稅ノ引上又法人稅ヲ損失ト認メラレナイ結果トシマシテ、急激ナ增稅ノ負擔ハ企業心ヲ萎縮サシテ、經營ヲ放漫ナラシメル處方アリハシナイカ、先ヅソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

チ今回増税致シマシタ今度ノ税率ハ、法人ニ於キマシテハ所得金ノ從來ハ一七・四五ト云フノヲ、僅カニ一八ニ上ガタニ止ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ資本ニ對シマシテハ、拂込資本ニ對シテ千分ノ一・二ト云フモハガ一・五ニ上ツタニ止ツテ居ルノデアリマシテ、今回ノ増税ノ主タルモノハ、税ヲ利益カラ取ルト云フ場合ト、ソレカラ税ヲ一應經費ニ立てテ課税スルト云フ其ノ差ガ、根本カラ増税ノ主ナモノデアリマシテ、略、一割五分内外ニ止ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ程度ノ負擔ハ法人ガ相當ノ利益ヲ擧ゲテ居ル場合ニ於テ、負擔シテ戴イテモ大ナル影響ハナイデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス。

○野村徳七君 増税ト云フコトデハ一・五デアリマスケレドモ、實際法人ノ負擔ハ、稅ヲ損失ト見ナイトハ云ヘ、事實ニ於テ一億七千餘萬圓ノ負擔ニナルノデアリマス、増税ト云フモノハ固ヨリ手段デアツテ、目的デアツテハナラナインデアリマス、兎角現下一部ノ經濟問題デアリマスル「インフレ」克服ト云フコトト、ソレカラ又一面デハ乏シキ資財ノ中カラ國防力ノ充實ニ一生懸命ニツカ居ル、サウシテ聖戰ヲ貫徹シテ、所謂東亞ノ盟主トシテ我國ガ世界ニ雄飛スル、斯ウ云フヤウナ精神ヲ以テ活動シテ居リマス際ニ、此ノ生産力擴充ト、之ヲ能率的ニ運營スル旺盛ナル企業精神ト云フコトモ、是亦餘程尊重シナケレバナラヌ、併シ今回ノ此ノ法人ノ所得ヲ損失ト見、或ハ損失ト見ナイト云フコトノ議論ハ、結局一億七千數百萬圓ノ租稅負擔ト云フコトニナリマシテ、其ノ所謂過重ナル租稅負擔ノ結果ハ、是等企業心ヲ萎靡サセル、勢ヒ生産力擴充ノ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 御心配遊バサレルト云フノデ  
ルコトヘ、私決シテ御無理トハ考へマセヌガ、  
今日日本ノ稅ノ負擔ヲスル主ナルモノハ法  
人デアリマスガ、此ノ法人ガ今回ノ增稅ノ  
總額八億一千萬圓ノ中デ、一億七千五百萬  
圓ヲ譲當テラレテ居ル勘定ニナッテ居ルノデ  
アリマシテ、私ハ影響ガ全然無イトハ由  
シマセヌケレドモ、鬼ニ角利益ニ比例シテ  
稅ノ負擔ニ任ジテ貰フ譯デアリマスカラ、  
非常ニ經濟界ヲ不安ニ陥レマスルヤウナ影  
響ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、勿論  
斯ウ云フ場合デアリマスカラ色々ノ法人ニ  
對シマシテハ、始終其ノ打擊ヲ受ケルモノ  
ニ對シマシテ、適當ナ援助ヲシテ行カナケ  
レバナラヌコトハ固ヨリデアリマスケレドモ、  
大體ニ於テ先づ此ノ程度ノ稅額ヲ課シ  
マシテモ、其ノ爲ニ非常ナ影響ヲ及シテ來  
ルトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯今  
日ノ事業家等ニ於キマシテハ御話ノ如ク  
資材ハ乏シイ、商賣ハ統制々々甚ダ面倒  
ニナツテ居ル、サウシテ商賣ガ昔ノ通リニ圓  
滑自由ニ行カナイ、斯ウ云フ點ガ可ナリ影  
響ヲシテ居ルノデアラウト思ヒマスノデ、  
サウ云フ點ニ付キマシテハ特ニ注意ヲ拂ツテ居  
圓滑ヲ期スルヤウニ努力致シタイト、斯様  
ニ考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス

○野村德七君 モウ一つ、是ハ意見ヲ伺ヒ  
タノムデアリマスルガ、先ニ申述ベシシタ  
ヤウニ、最近ノ經濟界ノ情勢カラ考ヘテ見  
マスルト云フト、事業會社ニハ可ナリナ原料  
難ノコトモアリマスシ、又動力難等ノコトモ  
アリマス、又中小商工業者ノ方面デハ配給材

料ノ減少、取扱商品ノ減退、サウ云フコト  
ガアリマシテ、從來ノヤウニ所得ノ增加ガ  
期待シ得ラレナインオデハナイカ、寧ロ總括  
的ニ収益減ヲ來スノデハナイカト云フ懸念  
ガアルノデアリマスガ、又併シ經濟界ニモ  
一面カラハ樂觀的ナ見地ヲ持ツテ居ル人モ  
アルノデアリマス、大體ニ於キマシテ大藏  
大臣ハ、今ノ現狀カラ見マシテ、過去ニ於  
ケル自然增收ト云フヤウナモノガ繼續シテ  
行クカドウカト云フ大臣ノ御見透シ、御意  
見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

満洲邊リカラ相當ナ原料ガ日本ニ入ツテ來ルヤウナ時代ニナリマスレバ、必ズヤ自然增收ノ相當ナモノガアルデアラウト考ヘトハ誤リデアラウト思ヒマス、併シナガラ全然自然增收ガナイカト云ヘバ、私ハ今日ノ如キ非常ナ大キナ國費ヲ使ツテ居リマス際ニ於テ、相當民間ニ於テ之ヲコナシテ居ルノデアリマスカラ、多少ハアルトス様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、昭和十五年度ニ於キマシテハ、私ハ昨年ヨリハ無論多イ自然增收ヲ見ルノデハナカラウカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○野村德七君 同ヒマス所デハ、先ヅ現時ノ經濟情勢カラ推シテモ相當ナ自然增收ガアルト云フ結論ニナルヤウニ伺ヒマス、先ヅ相當ナ自然增收ハアルト御考ニナルト云フコトニ承知シテ宜イ譯デアリマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 大體ニ於テ只今御話ノ通りデアリマス、唯若シ經濟界ニ變動ヲ起スヤウナコトガアリマスト云フト、ソコニ蹠跡ヲ來シマスノデ、其ノ點ヲ十分ニ注意シテ參リマスナラバ、其ノ大小ハ別デアリマスケレドモ、自然增收ガアリ得ルトスウ考ヘテ居リマス

○野村德七君 モウ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、衆議院デモ矢張リソレト私ハ同ジヤウナ御答ヲ拜聽シテ居ルノデアリマス、我ガ國財政が現在程度ノヤウナ規模ヲ續ケテ居リ、國際情勢、又經濟狀況ニ於テ特別ノ事ウ、所謂增收ヲ要シナイグラウト云フコト

ヲ繰返シテ御話ニナツテ居ルノヲ、委員會此ノ増稅五億圓ガ既ニ實施サレタ基礎ニ於テノ御説明ト拜聴シテ居ルノデアリマス、併シ不幸ニシテ茲一兩年内ニ自然增收ノ伸び方ガ減ルトカ、或ハ全然停頓スルヤウマス、或ハ是ハ杞憂デアルカモ知レマセヌガ、是ハ別段ニ質問的ニ、御答ヲ頼ヒタイト云フ譯テハアリマセヌガ、御意見ヲ伺ヘレバ仕合セデアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄三) 自然增收ガ減少シタ場合ニ於テ、更ニ增稅ヲスルカドウカト云フ御話デアリマスガ、先刻來申シマスト通リ大體ニ於テ自然增收ハ左様減少スルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌシ、サウシテ此ノ増稅ニ、現在ノ增稅ヲ御承認ヲ戴クト云フコトニナリマスルト、自然增收ハ極ク俗ナ言葉デ以テ申シマスレバ、所謂附屬的ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、此ノ自然增收ガ必ズアルト云フコトヲ見透シテ、サウシテ財政計畫ヲ立テ行クト云フコトハ誤リデアリマス、自然增收ト云フコトハ大體ニ於テアルト見ラレマスケレドモ、ソレハ要スルニ豫備的ニ考ヘテ行カナケレバ相成ラスト思ツテ居リマス、要シマスルノニ、日本ノ財政計畫ト致シマシテハ、私自身カラモ茲四五年ノ間ハ增稅ヲ致サナイ、斯ウ云フ覺悟デ進ンデ參ル積リデ居リマス、併シ日本ノ經濟界ガ日一日ト發展ヲ致スコトニ對シマシテハ、最大ノ努力ヲ拂ヒタイト考

ヘテ居リマスカラ、日本ノ經濟界ガ發展ヲ致セバ致ス程、所謂彈力性アル稅制ト致シマシテハ、ソレダケ增收ヲ見ルノガ當然デアリマシテ、日本ノ國力ノ衰ヘザル限リハ、風ニ考ヘナクテモ宜シノデハナイカト、斯ウ思フノデアリマス、日本ノ財界ガ若シ非常ナ不況ニ陥ルト云フコトニナリマスルト、又自然增收ノ關係上收入ガ減ルノデアリマス、其ノコトニ付キマシテハ十分ニ注意ヲ致シテ、日本ノ財界ガ非常ナ惡影響ヲ受ケテ、サウシテ爲ニ萎靡沈衰ヲ招カナイヤウニ致シテ行クコトガ、今日最モ心掛ケナケレバナラヌコトト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

〔速記中止〕

○國務大臣(櫻内幸三君) 今日輸出貿易ノ振興ヲ圖リマスコトハ最モ必要ナコトデアリマシテ、是ハ固ヨリ論ヲ俟タナイ所デアリマス、只今御話ノ如ク昨年九月十八日ノ九。一八物價停止令以後ニ於キマシテモ、俗ニ謂フ闇取引ガ横行致シマシテ、物價ガ動モスレバ昂騰ヲ致シテ居ル、其ノ際ニ今回ノ増稅デアル、從ツテ之ガ輸出貿易ニドウ云フ影響ヲ及スカト云フ點ノ御心配ニナルコトハ、是ハ誠ニ御尤デアリマス、政府ト致シマシテハ、此ノ輸出貿易ニ付キマシテハ大イニ力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、チヨット速記ヲ止メテ戴キマス。

○委員長(鈴置林博太郎君) 速記ヲ止メマス

〔速記中止〕

○委員長(鈴置林博太郎君) 速記ヲ始メマス

○磯野庸幸君 只今輸出貿易ノ獎勵ニ付テ御配慮下サルト云フコトデ、誠ニ有難ウゴザイマス、ソレデハモウ一點伺ヒマスガ、日米爲替ガ段々上ツテ參リマシタニ付キマシテ、是ハ英米「クロスレート」ノ關係デ、無論サウナルノデアリマセウガ、弗ノ方ハ圓ニ「リンク」シテ二十三弗十六分ノ七ト上ツテ居リマシテ宜シウゴザイマスガ、英國ノ方ハ此ノ間迄一志二片、最近ハ一志三片、此ノ間ハモット上ツテ居ツタヤウデアリマスガ、日本ノ貿易ハ「ボンド」デ決済スルノデアリマスカラ、サウ云フ關係カラスレバ非常ニ影響ガアリマスガ、之ニ對シテ御者ガアリマスレバ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸三君) 今御話ノ如ク英米「クロス」ガ、「ボンド」ガ下落致シマシテ、其ノ結果ガ日英間ノ爲替相場ニ變動ヲ

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

來シマシテ、從來一志一片デアリマシタモノガ、最近ニ至リ一志三片ニナッテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、其ノ結果ドウ云フ影響ヲ及スカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ政府ニ於キマシテモ十分注意致シテ居リマスガ、大體ニ於キマシテ日本ノ輸出入關係ノ一番主ナルモノハ「アメリカ」デアリマス、サウシテ輸出入ノ大凡六割二三分ト記憶シテ居リマスガ、大體大シタ達ヒハアリマセヌガ、六割二三分ト云フ影響ヲ受ケルコトハ勿論デアリマスガ、此方ニ於キマシテハ、此ノ度ノ「ボンド」ノ下落デ、日本ノ輸出品ヲ貿易スル場合ニ於テノ方面ノ輸入ニ對シテハ日本ト致シマシテハ樂ニナリマスガ、輸出ハソレダケ影響ヲ起ス勘定ニナリマス、併シナガラ約十二分ノ一カ幾ラノ變化デアリマシテ、今日迄ニ於テ非常ナ變化ガアッタカト申シマスト、只今迄ノ所ハ此ノ「ボンド」下落ノ爲ニ大ナル影響ハ受ケテ居ナイノデアリマス、唯御承知ノ通り「イギリス」ガ今回爲替管理ヲ強化シタ、其ノ強化ニ依テ幾分ノ影響ガナイトハ申セナイノデアリマシテ、之ニ對スル對策ハ特ニ講ジタイト思ッテ、今折角考究致シテ居リマスガ、併シ日本ニ對スル所ノ爲替強化ハ致シテ居ラヌノデアリマス、特ニ特定ノモノニ對シテ、今回五品目ニ對シテ、所謂相手輸出國ノ通貨ニ依ツテ取引ヲスルト云フコトヲ決定致シマシテ、英國ニ於ケル「ボンド」ノ闇取引ニ依ツテソレヲ買ツテ、其ノ闇取引ニ依ツテ買ツタ「ボンド」ヲ利用シテ決済スルコトヲ許サナイ、ト云フコトヲ決定致シタニ過ギナイノデアリマス、殊ニ「ゴム」トカ、毛皮トカ、サウ云フ五品目ヲ指定致シマシ

タ、サウ云フ狀態ガ即チ「ボンド」下落ヲ招カ」デアリマスガ、日本トシテハ其ノ方面ニハ關係ガゴザイマセス、唯「イギリス」ニ於テ買ツタ品物ヲ「イギリス」ニ於テノ「ボンド」其ノ儘デアリマスレバ何モ關係ガゴザイマセヌケレドモ、之ガ各國ニ對シテ自由ニ「リンク」シテ行クト云フコトガ出来マセヌノデ、其ノ點ニハ多少影響ガアルモノト存ゼラレマス、兎ニ角向フノ爲替相場ガ暴落致シマシテカラ、今日迄ノ間ニ於テ是レト云フ風ナ先ヅ打撃ト云フコトハ認メマセヌケレドモ、是カラ先幾分打撃ガナイトハ言ヘナイノデアリマシテ、從ヒマシテ之ニ對スル所ノ對策ヲ今講ジテ居リマスガ、之ニ對シテ斯ウ云フ風ナ方法デ其ノ對策ヲ致スト云フコトヲ申上ゲル機會ニナッテ居リマセヌノデ、此ノ際ダケハ差控ヘタ

イト思ヒマス  
○磯野庸幸君 モウ一點伺ヒマズ、「ヨーロッパ」ノ戰争ガモット險惡ニナリマスナラバ、英米ノ「クロス・レート」ガモット下ルダラウト思ヒマス、從ツテ日英ノ「ボンド」爲替ハモット上リハシナイカト云フコトヲ考ヘテ、別ニ對策ハ御考ニナッテ居ナイト云フコトデアリマスガ、若シ「ボンド」爲替ガ高クナツカ場合ニ、爲替ヲ一本建ニスルト云フヤウナコトハドンナモノデセウカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 御承知ノ通り爲替ハ此ノ爲替ノ管理ヲ強化致シテ居ルノスルノデ、私甚ダ細カイノデゴザイマシテ、ドウゾ政府委員カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、要スルニ問題ハ酒稅法ノ御改正ガゴザイマシタノデ、同ヒタノデアリマスガ、非常ニ細カウゴザイマスカラ、一問一答ニ御願ヒシタイト思ヒマス、先ヅ今度ノ酒稅法ニ掲ゲテアル所ノ「アルコール」ノ製造ハ、「アルコール」專賣法ニ依ツテ免許セラレルノデアリマシテ、此ノ酒稅法ノ免許ニ依ツテ「アルコール」ヲ製造スルコトハ出來ナイト思ヒマスガ、燒酎ニ付キマシテハ、此ノ稅法ノ「アルコール」ト云フノハ「アルコール」專賣法ノ適用ヲ受ケナイト思ヒマス、九十九度以上ノモノ、斯ウ云フ意味

ル利益ヲ擧ゲテ居ル時モアリマスノデ、イタ主ナル原因デアリマスガ、日本トシテハ其ノ方面ニハ關係ガゴザイマセス、唯「イギリス」ニ於テ買ツタ品物ヲ「イギリス」ニ於テノ「ボンド」其ノ儘デアリマスレバ何モ關係ガゴザイマセヌケレドモ、之ガ各國ニ對シテ自由ニ「リンク」シテ行クト云フモノニ對スル對策ト云フモノニ對シテ、何モ考ヘテ居ナイヤウナ風デアルト云フ御話デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ實ハ多少考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯ソレヲ發表致ス事柄ガ、其處迄參ツテ居リマスガ、サウナルト考ヘテ宜シウゴザイセヌノデ、差控ヘサシテ戴キタイト、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス  
○磯野庸幸君 有難ウゴザイマシタ、私ノ方ハ是デ終リマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 河田君  
○河田烈吉君 私ハ後デ宜シウゴザイマスガ、私ノ順デゴザイマスカ  
○委員長(伯爵林博太郎君) 通告順ニナッテ居リマスカラ……  
○河田烈吉君 先刻一應細カイ點ニ付テ御質問致シタノデアリマスガ、尙甚ダ恐縮デゴザイマスガ、チヨット伺ヒ漏シガゴザイマスルノデ、私甚ダ細カイノデゴザイマシテ、道ウゾ政府委員カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒ他ノ酒類ノ原料トシテ使用スル場合ニ於テ造ルモノハ免許シナイ積リデゴザイマス、ナガラ實際問題ト致シマシテハ、稅務行政賣法ノ適用ハ受ケナイノデアリマス、併シノ範圍ニ於キマシテハ「アルコール」ダケヲ造ルモノハ免許シナイ積リデゴザイマス、ザイマシテ、ソレニ達シナイモノハ此ノ專賣法ノ適用ハ受ケナイノデアリマス、併シノ範圍ニ於キマシテハ「アルコール」ト云フノ明デゴザイマスカラ、政府委員カラ……  
○政府委員(大矢半次郎君) 「アルコール」專賣法ノ適用ヲ受ケナイノデアリマス、併シハ、「アルコール」分九十度以上ノモノデゴザイマシテ、ソレニ達シナイモノハ此ノ專賣法ノ適用ハ受ケナイノデアリマス、併シナガラ實際問題ト致シマシテハ、稅務行政賣法ノ適用ハ受ケナイノデアリマス、併シノ範圍ニ於キマシテハ「アルコール」ダケヲ造ルモノハ免許シナイ積リデゴザイマス、ザイマシテ、ソレニ達シナイモノハ此ノ專賣法ノ適用ハ受ケナイノデアリマス、併シノ範圍ニ於キマシテハ「アルコール」ナラバ、免許スルト云フ「アルコール」ハ、「アルコール」專賣法ニ依ル九十度以上ニナル、斯ウ云フ意味

○河田烈吉君 其ノ今ノ他ノ酒類ノ原料トシテ製造スル「アルコール」ナラバ、免許スルハ、之ヲ免許スルト云フコトニナリマス  
○政府委員(大矢半次郎君) 九十度ニ達シナイモノデゴザイマス、九十度以上ノ場合ニハ「アルコール」專賣法ノ適用ヲ受ケルモノデゴザイマス、但シ酒類製造業者ガ同一法ニ依ル九十度以上ニナル、斯ウ云フ意味デアリマスカ

○河田烈君 サウ致シマスト、其ノ「アルコール」ト云フ言葉ハ、或ハ昔ノ酒精及酒精含有飲料稅法ト云フノガ、今度酒稅法ト云フコトニ變ルコトニナルノデアリマスガ、其ノ第三條ニ酒類ヲ分チテ清酒、合成清酒、濁酒、白酒、味淋、燒酎、麥酒、果實酒及雜酒トスル、此ノ中ニハ入ラナイデ、是等ノ酒類製造ハ、原料トシテ製造スルモノト看做スノデアリマスカ

○橋本辰一郎君　今日財政ニ携ル者ハ、此ノ赤字公債ヲ何時發行ノ中止ガ出來ヤウカ、又既ニ發行シタル所ノ其ノ公債ヲ如何ニシテ整理シヨウカト云フコトガ、最モ重キ關心デナケレバナラヌト思ヒマス、此ノコトニ付キマシテハ、大藏大臣ハ過日來當委員會ニ於ケル御答辯ニ徵シマシテモ、又新聞紙ノ傳フル所ニ依リマシテモ、相當ナル御考ヲ御持チニナシテ居ル、寧ロ樂觀的ノ御考デアルカノヤウニ窺ハレルノデアリマスガ、其ノ御答辯ノ中ニハ、先程モ野村委員ニ向テ御答ニナリマシタ中ニ、支那ノ經濟的發展ニ依シテ原料ヲ獲得スルコトガ出來ル、之ニ依シテ日本ノ事業界モ非常ニ振興ラスルト云フヤウナ御答辯ガアリマシタノデスガ、ソレニ付キマシテ、唯ソレダケデハ我々ハドウモ公債ノ整理ニ付テ安心ラスルト云フ譯ニモ至ラスト思ヒマスノデ、モウ少シ成ルベクモニ詳シク御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君)　赤字公債ヲ何時ニナックラ發行シナクナルダラウカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、度々申上グマス通り今日國費ガ非常ニ厖大ヲ致シテ居リマス結果、勢ヒ新シキ仕事ヲ致シマスノニハ、赤字公債ヲ募ラナケレバ出來ナイノデアリマスカラ、ソレハ主トシテ赤字公債ニ依レバ……ソレデハ地方局長ガ見エル迄ドウゾ御願ヒシマズ

ラナケレバナラヌ状態デアリマス、斯様ナル事變ニ際シマシテハ、世界ノ各國何レモガ赤字公債ニ依シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、從ヒマシテ今日ノ場合ニ於テ赤字公債ト云フモノヲ何時ニナッタラ全然止メルカト云フコトニ付キマシテハ、甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、マダ確タル見込ヲ立テ得ナインデアリマス、左様ナル状態デアリマスカラ、赤字公債ヲ何時ニナッテ止メルカト云フコトニ付キマシテハ、只今私ノ見透シト致シマシテ申上ゲ兼ネルノデアリマス、併シナガラ其ノ公債ヲ發行致シマシテモ、ソレニ對スル利拂竝ニ其ノ元本ヲ償還スルノ途ハ、是ハ確立シテ、サウシテ何年ノ後ニヘ、其ノ本年度ナリ明年度ナリニ發行シタ赤字公債ヲ全部償還シテシマフ、斯ウ云フ建前ハドウシテモ立テナキヤナラヌノデアリマシテ、ソレニ付キマシテハ相當ナ見透シヲ付ケテ計畫ヲ立テル考デアリマス、申ス迄モナク今日迄ハ萬分ノ百十六ト云フモノヲ利拂ノ爲ニ減債基金トシテ繩入レテ居タノデアリマスケレドモ、昨今ニ至リマシテソレヲ三分ノ一一減少致シテ居リマス、斯様ナル事柄ハ公債ノ聲價ヲ維持スル上ニ於キマシテモ、ドウシテモ是ハ相當考ヘナケレバナラヌコトデアリマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ極メテ近キ將來ニ於テ、其ノ方策ヲ定メテ參リタイト思ツテ居リマス、從ヒマシテ公債ヲ發行致シマシテモ、其ノ利拂ト、ソレカラ元本償還ノ途ガ立ッテ參リマスレバ、必ズシモ、私公債ヲサウ恐ルベキモノデハナイト思ヒマス、或ハ樂觀ヒマスケレドモ、私ハ赤字公債其ノモノハヒ途ノ如何ニ依リマシテハ、國運ノ發展

ニ資スル途モアルト思フノデアリマシテ、今  
日ノ事變ノヤウナ事柄ニ付キマシテハ、是ハ  
其ノ大部分ヲ空費スルカモ知レマセヌガ、其  
ノ他ノ問題ニ對シマシテハ、一定ノ方針ノ  
下ニ國運ノ隆昌ヲ期スル基礎トナルベキ問  
題デアリマスナラバ、ソレハ其ノ時發行シ  
タル公債ノ償還ニ對シテ確實ナル財源ヲ得  
ラレルノデアリマスカラ、左程心配ヲ致ス必  
要ハナイト存ズルノデアリマス、ソレカラ第  
二ノ御問ハ、支那ニ於ケル所ノ事業ノ發展、  
將來ニ對シテドウ云フ風ニ利益ヲ產ンデ來  
ルカト云フコトヲ具體的ニ言ヘト、斯ウ云  
フ御話デアリマスガ、マダ是ハ實ハ具體的  
ニ申上げル機會ニ到達致シテ居リマセヌ、  
即チ支那中央政權ト日本トノ間ニ今ヤ其ノ  
折衝ヲ致シテ居リマスノデ、經濟合作ニ對  
スル所ノ日本ノソレニ對スル出資ノ歩合、  
茲ニソレニ對スル所ノ利潤ノ配分等ノ歩合  
ニ付キマシテ、マダ確定致シテ居リマセヌノ  
デ、新中央政權トノ話合方付キマスレバ、ソコ  
ニ於テ大體ノ見透シガ付クト思ヒマス、現  
在ノ北支ニ於ケル問題モ、今回ハ新中央政  
權ガ出來マシタ上ニ於テ、改メテ協定ヲス  
ルコトニナルト考ヘマスノデ、此ノ際ニ於  
テハ之ヲ申上げ兼ネマスケレドモ、少クト  
モ鐵デアルトカ、石炭デアルトカ、綿デア  
ルトカ、鹽デアルトカ、或ハ雜貨デアルト  
カ、特殊ノ金屬デアルトカト云フモノニ付  
キマシテハ、少カラズ日本ノ產業界ニ裨益  
スル所ガアルト、斯様ニ申上げテ置キマス  
ト言ウタノデハナイノデアリマス、今日ノ  
字公債ヲ發行スルノガ宜イトカ、惡イトカ  
○橋本辰二郎君 私ハ此ノ時局下ニ於テ赤  
状況ノ下ニ於テ、赤字公債ニ依テ戰費ナ  
リ、時局ニ必要ナル所ノ經費ヲ賄フト云フ

コトハ、是ハ勿論何人モ當然ノコトと思ツ  
テ、異議ノナイ所デアリマスガ、度々既ニ  
發行シタ所ノ公債ノ元利ノ償還ニ付テハ、  
別ニ心配スルノ必要ガナイカノヤウナ御樂  
觀ノ御意見ヲ御發表ニナッタヤウニ承リマ  
シタカラ、如何ナル根據ニ依ッテ斯ウ云フ御  
言明ヲナサシタカト云フコトヲ承リタイト  
云フノガ趣意デアルノデアリマス、度々北  
支ノ鐵鑛、若シクハ石炭トカ、綿トカ、鹽  
トカ云フヤウナモノヲ内地ニ輸入シテ、以  
テ彼我ノ經濟的發展ヲ圖リ、之ニ依ッテ經濟  
界ノ殷賑ヲ來シテ、由ツテ以テ租稅ノ增收ヲ  
圖リ、之ヲ償還ニ當テヤウト云フ御話デア  
ラウト私ハ推察致スノデアリマスガ、サウ  
云フコトハ席上ニ於テハ容易ク言ヒ得ルコ  
トデアリマスガ、其ノ實行ト云フモノハ非  
常ニ私ハ困難デアラウト思ヒマス、ヨク世  
間デハ、支那ノ大同ノ石炭ヲ千萬「トン」輸  
入シタナラバ宜カラウト、斯ウ云フ話ガア  
リマスガ、千萬「トン」ノ石炭ヲ輸入シヨウ  
トスルニハ、一日ニ三萬「トン」ヅ、運バナ  
ケレバナラナイ、是ハ陸上及ビ港ノ荷役能  
率竝ニ船舶等ノ關係ヲ見マスト、ナカノ  
容易ナコトデナイノデアリマシテ、假ニ鐵  
道ト致シマシテモ、一日三萬「トン」ヲ輸送  
スルト云フコトニナリマスレバ、三十「ト  
ン」ノ貨車ガ千輛要ルノデアリマシテ、之  
ヲ五十輛ヅ、引ッ張ルニシマシテモハ二十回  
ノ往復デナケレバナリマセヌ、又千萬「ト  
ン」ノ石炭ヲ荷役スルト云フコトハ、是ハ  
殆ド世界ニモ類例ノナイヤウナ大設備ヲ要  
スルモノト思ヒマス、又ソレニシマシテモ、  
之ヲ運ブ所ノ船腹ヲ何處ニ求メムトスルカ  
ト云フヤウナ問題モ起ツテ參リマシテ、鐵鑛  
ニシタ所ガ、三百萬「トン」トカ、二百萬

ハ、之ニ伴フ輸送機關ガ完備シナケレバナ  
ラナイ、到底是ヘロデ言フダケデ、實行ハ  
ムヅカシイト思ヒマスガ、支那ノ開發ニ付  
キマシテモ、輸送ノミナラズ探掘及ビ鹽ノ  
製造等ニ於キマシテモ、矢張リ非常ナ設備  
ト勞力ヲ要シマスノデ、到底是等ノモノヲ  
以テ將來ノ公債ノ元利ノ償還ノ財源ニ供シ  
得ルト云フヤウナコトハ、餘リ私ハ樂觀過  
ギルカノヤウニ思ヒマスノデ、且又是ガ出  
來ルニシタ處ガ、是ハ相當遼遠ニ瓦ルコト  
デアリマス、茲五年ヤ六年ノ間ニ其ノ結果  
ヲ見ルト云フコトハ、私ハ到底ムヅカシイ  
ト思ヒマスノデ、何トカサウ云フコトニ依  
ラズシテ、他ニツツ償還ニ付テノ御考ヲ御  
向ケニナル方ガ、寧ロ確實性ヲ帶ビテハ居  
ナイカト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウ  
力

唯其ノ中カラ速カニ明年カラデモ多少デモ  
效果ヲ擧ゲベキモノニ付キマシテハ、著々  
トシテ效果ヲ擧ゲテ行キタイ、是ハモウ十  
分ナル注意ヲ拂ツテ進行シテ行キタイト思ツ  
テ居リマス、中ニハ明年若シクハ明後年カ  
ラ相當ニ利益ヲ擧ゲテ來ルモノガナイトハ  
申サレナイノデアリマシテ、現在ノ計畫サ  
レテ居ル中ニ於テモ、多少ハ效果ヲ擧ゲテ  
來ルト考ヘテ居リマス、併シ全面的ニ考ヘ  
マシテ、其ノ效果ガ十分現レテ來ルコトハ  
御說ノ通リデアリマシテ、多少ノニ之年月  
ヲ要スルト云フコトダケハ免レスコトと思  
フノデアリマス、斯ウ云フコトヲ考ヘズシ  
テ、サウシテ更ニ有效ナル方策ヲ講ジタラ  
ドウカト云フ御話デアリマスガ、ソレハ固  
ヨリ政府ト致シマシテモ、此ノ點ニ對シマ  
シテ努力ヲ致スコトハ勿論デアリマスガ、  
要スルニ此ノ日本ノ經濟ガ發展ヲシテ行  
クト云フ事柄ガ一番必要デアリマスノデ、  
日本ノ經濟界ノ發展ヲ速カニスル、要スル  
ニ一面ニ於テハ貿易ノ振興ヲ致シテ、一面  
ニ於テハ生産ノ擴充ヲ致スト、斯ウ云フ事  
柄ニ對シテ力ヲ注グベキデアラウト思ヒマ  
シテ、サウ云フ點ニ付キマシテ今日國費多  
端デアル際ニ於キマシテモ、其ノ方面ニ金  
ノ廻リマスヤウニ、又助成ラスベキ所ハ助  
成ヲ致シテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ居  
ルヤウナ譯デアリマシテ、單ニ支那及ビ満  
洲ノ利權ヲ日本ノ公債ノ元本償還ニ當テタ  
リナゾト云フコトニソレヲ振り向ケルト  
云フガ如キコトヲ單純ニ考ヘテ居ルノデハ  
ゴザイマセヌ、全面的ニ國運ノ發展ヲ期セ  
ナケレバナラスト、斯ウ考ヘテ努力ヲ致ス  
積リデアリマス

ル財源ヲ、主トシテ滿洲及ビ北支ノ經濟的開發ト我國トノ連繫ニ頼ルト云フコトハ、是ガ主タルマア目的デナイト云フコトデ、其ノ償還ニ付キマシテ色々御心配ニナッテイラッシャルト云フコトハ了承致シマシタノデゴザイマス、又内地ノ經濟界ノ發展ヲ圖リ、貿易ノ伸張ヲ第一ニシナケレバナラヌト云フコトモ、是モ私等異議ガナイノデアリマス、併シナガラ貿易ノ伸張ト申シマシテモ、是ハ相手國ノアルモノデアリマシテ、御承知ノ通り近來無暗ニ外國ニ物ヲ賣ルト云フコトモ甚ダ不可能デアリマシテ、關稅ノ障壁ヲ高クシテ日本ノ商品ヲ排斥スル所モアリマス、又「バーター」制ニ依ルニ非ザレバ日本ノ物ヲ買ハナイト云フノモアリマシテ、此ノ貿易ノ伸張ノミニ餘り重キヲ置クト云フコトモ、是モ餘程考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、況ヤ世界ノ景氣ト云フモノハ、此ノ一筋道ニ行クヤウニ日々ニ謂非常ナル「カーヴ」ヲ呈シマシテ、其ノ波瀾ノ状態ト云フモノハ御承知ノ通リデアリ進展ヲシテ行クノデアリマセヌデ、是モ所謂非常ナル「カーヴ」ヲ呈シマシテ、其ノ波瀾ノ状態ト云フコトハ、大イニ疑ヲ容レナケレバナラヌト思ヒマス、ソレデ總テノ惡意條件ニ際會ヲシテモ、是ダケノ覺悟ヲ以テスレクト云フヤウナ形勢ガ持續ガ出來ルカドウカト云フコトハ、大イニ疑ヲ容レナケレバウナ、根本策ヲ御研究ニナルコトガ最モ必要デアラウト思ヒマシテ、是ハ私ノ意見トバ公債ノ整理ニハ決シテ困ラナイト云フヤ致シマシテ申上げテ置キマス、ソレカラ其ノ次ニ一ツ伺ヒタイノハ、以前ハ十年概計表ト云フモノヲ御發行ニナツテ居リマシテ、ソレニ依リマシテ十箇年間ニハ斯クノ如キ財政ノ見透シヲ持ッテ居ラレルト云フコト

ニ同ヒマシテ、我々豫算ヲ審議スル上ニ於  
テ非常ニ参考ニナツタノデアリマスルガ、之  
ヲ五六年前カラ御止シニナリマシタ、御止シ  
ニナツタ理由ハ、詰リ經濟界ノ前途ト云フモ  
ノヘ到底豫想ハ出來ナイ、總テ財政政策ハ經  
濟界ヲ對象ニシナケレバナラヌカラ、今日ノ  
ヤウニ斯ウ云フ風ニ動搖變轉極リナキ所ノ世  
界ノ經濟界ノ情勢ニ對シテハ、概計表ヲ作ッテ  
モ駄目ダト云フヤウナ御見込デアラウト思ヒ  
マス、併シナガラ是ハ先デドウ變ラウガ、  
其ノ當時ニ於テノ財政家ノ見識ヲ示ス上ニ  
於テ必要デアラウ、今日ノ情勢ヲ以て別ニ  
故障ナク進ンデ行ク場合ニ於テハ、斯クノ  
如クナルト云フコトヲ御示ニナルノニハ別  
ニ差支ナイヤウニ考ヘマスルガ、此ノ概計  
表ヲ再び復活サレマスルト云フ御考ハアリ  
マスマイカ

ル、爲著相場モ變動スル、種々難多ノ變動  
ガ多クアルノデアリマシテ、之ヲ概計表ヲ  
出シマシテモ、ナカニ此ノ通りニ行カヌ  
點ガ多々アラウカト思ヒマス、從ヒマシテ  
今ノ所政府ト致シマシテ、此ノ十年概算表ヲ  
ト云フモノヲ再び提出致シマシテ、御審議  
下サル参考ニ供スルト云フコトハ致シタイ  
ノデアリマスルケレドモ、實際ニ於テソレ  
ヲ實施スルコトガ困難ナルヤウナ事情ニア  
リマス、差當リハ先ツ此ノ概計表ト云フモ  
ノヲ出スト云フヤウナ計畫ヲ定メテ居ラナ  
イヤウナ狀況デアリマス

シテ、威ヲ世界ニ振フ所以ノモノモ、畢竟海上ノ霸權ヲ掌握スル爲ニ外ナラズト思ヒマス、我ガ國ニ於キマシテモ、若シモ中世紀頃ヨリ吾人ノ祖先ガ海上ニ意ヲ注ギマシテ、又徳川家ガ鎖國政策ヲ執ラナカッタナラバ、恐ラクハ今日ノ南洋諸島ハ夙ニ我ガ領土ニ歸シマシテ、吾人ハ今更天然資源ノ缺乏ヲ歎クコトハナカッタラウト思フノデアリマス、私共ハ往時ヲ追憶シテ、實ニ感慨ノ深イモノガアリマス、今ヤ我ガ國民ハ非常ニ覺醒ヲ致シマシテ、海洋ニ雄飛シヨウト云フ警鐘ハ鳴リ響イテ居リマス、是ハ當然ノ歸結デアリマス、我ガ國ハ四面環海、而モ天然資源ノ乏シキ所ノ國デアリマシテ、我ガ國ヲシテ富強ニ導カムト欲セバ、須ク海洋ノ利用ニ主力ヲ注ガナケレバナラズ、比來大藏當局ハ海運事業ノ保護助成ニハ、比較的の冷淡ナル態度ヲ示サレタノデアリマス、彼ノ船舶改善助成事業ニ對シテモ、僅カニ一千萬圓ノ支出ヲ吝シミマシテ、容易ニ當業者ノ意ヲ容レナカッタノデアリマス、是ハ昨年物故セラレマシタル財界ノ巨人格、高橋大藏大臣ノ私邸ニ數回足ヲ運ビマシテ、辛ウジテ之ヲ説得シテ此ノ實現ヲ見ルニ至ッタノデアリマス、處ガ此ノ事業ノ成績ト云フモノハ、實ニ偉大ナル結果ヲ齎シマシテ、凡ソ政府ノ補助ヲ得マシタ所ノ事業デ、サウシテ船舶改善助成事業ノ如ク顯著ナル功績ヲ立ドコロニ奏シタモノハ、殆ド他ニ匹儕ハナイノデアリマス、即チ老朽船ハ淘汰セラレマシテ、優秀船ハ續々ト建造セラレタノデアリマス、而シテ一方破産ニ瀕セル所ノ造船所ハ、是ガ爲ニ新タニ事業ヲ得マシ

テ、茲ニ更生ノ道ヲ辿リマシテ、サウシテ  
其ノ建造シタ所ノ船ハ續々ト海外ニ輸出  
致シマシテ、莫大ナル外貨ヲ獲得致シマ  
シタ、我ガ國ノ國際貸借ノ決済ニ偉大ナル  
貢獻ヲ齎シタト云フ功績ハ、實ニ沒スベカ  
ラザルモノガアルノデアリマス、今ヤ國際  
貸借ノ調整ニハ、官民共ニ日夜憂惱シテ、  
居リマス、現ニ大藏當局ニ於キマシテハ、  
零細ナル外貨債スラモ之ヲ動員セムト焦アツテ  
居ラル、ヤウナ有様デアリマシテ、大藏當  
局モ今日ニ於キマシテハ、今更外貨ヲ獲得  
スルコトノ有難味ヲ痛感セラレタコトト思フ  
ノデアリマス、實ニ改善助成事業ト云フモ  
ノハ、僅カニ一千萬圓ノ費用ヲ投ジタノミ  
ニモ拘リマセズ、我ガ國ハ古來古船ノ姥捨  
山ノヤウナ評ガアリマシタノフ、一朝ニシ  
テ此ノ不評ヲ一掃シマシテ、サウシテ老朽  
ノ不經濟船ハ淘汰セラレマシテ、サウシテ  
新造船ガ續々ト我が船舶界ニ竣工致シマシ  
テ、我ガ國ノ品位ヲ非常ニ向上サシタノデ  
アリマス、其ノ聲價ト云フモノハ、殆ド世  
界海運國ノ美望ノ的トナリマシテ、先進海  
運國デ我レニ倣フモノガ續出シタノデアリ  
マス、大凡維新開國以來、百般ノ文物制度  
悉ク範ヲ歐米ニ取ラザルモノハナイノデア  
リマス、獨リ此ノ改善助成事業ノミ我ガ國  
ノ創設ニ係リマシテ、彼レヲシテ我レニ追  
隨セシメタト云フコトハ、實ニ近來ノ一大  
快事デアッタノデアリマス、然リト雖モ船舶  
ノ建造ニハ多額ノ資金ヲ要スルモノデアリ  
マス、優秀船ニ至ッテハ殊ニ然リト恩フノデ  
アリマス、海外ニ於キマシテ他ノ先進海運  
優秀船ノ建造ヲ獎勵スルノニハ、資金ノ融

通ガ第一要件デアリマス、然ルニ大藏省ハ是亦僅カノ利子ノ補給ヲ澁リマシテ、資金ノ融通ヲ一時非常ニ窮屈ナラシシメタコトガアリマシテ、ソレガ爲ニ此ノ造船界ノ閑散ナル時期ヲ利用シテ、十分ニ其ノ機能ヲ發揮セシムルト云フ好機ヲ逸シタト云フコト之ガ補助機關デアル所ノ商船隊ガ貧弱ナル場合ニ於キマシテハ、此ノ優勢ナル海軍ノ威力ヲ十分ニ發揮スルコトノ出來ナイト云フコトハ、是ハ海運通ノ決定ノ議論デアリマス、現ニ満洲事變ノ半バニ於キマシテ、我ガ國ニ威壓ヲ加ヘムト一旦決意致シマシタケレドモ、補助商船隊ノ不十分ノ爲ニ躊躇逡巡セシ米國ガ最モ好キ適例デアリマス、國際情勢ノ今日我レニ最モ不利デアシテ、且險惡ナル今日ニ於キマシテ、優秀船ノ確保ト云フコトハ最モ必要ナコトデアリマス、處ガ大藏省モ幸ヒ近來大イニ覺醒セラレマシテ、海運國策ニ順應シテ、或ハ造船獎勵金ヲ支出シ、又近時金融ノ大擴張ヲ圖リ、海運船舶ノ償却率ヲ緩和シ、兼ネテ新造船ノ特別償却法ヲ認メルガ如キハ、大藏當局ガ世界ノ大勢ニ鑑ミマシテ、造船政策ニ一大進境ヲ示シタモノデアリマシテ、實ニ國家ノ爲ニ慶賀スベキコトデアルト思フノデアリマス、私共ハ敢テ隴ヲ得テ蜀フ望ムノデ務ニ勵精スルヤウニ善導セラレムコトヲ、ハアリマセヌガ、大藏當局ガ百尺竿頭一步ヲ進メマシテ、海運業者ノ多年ノ歎望ヲ採擇セラレマシテ、業者ヲシテ安ンジテ欣然業務ニ勵精スルヤウニ善導セラレムコトヲ、ソレハ船舶ノ保險金問題デアルノデアリマス、

即チ船舶が遭難致シマシテ、船體ヲ保  
險會社ニ委付シテ、之ニ代ッテ保険金  
ヲ受領シタル場合ニ於キマスル所ノ課稅ノ  
問題デアルノデアリマス、此ノ問題ハ隨分  
長イ懸案デアリマシテ、殊ニ近來船價ガ非  
常ニ暴騰致シマシテ、保險金額ト帳簿價格、  
即チ「ブック・ヴァリュウ」トノ差ガ著シクナッ  
タ今日ニ於キマシテ、特ニ船舶業者ノ關心  
ノ的トナツテ居ルノデアリマス、例ヘテ申シ  
マスレバ、此處ニ九千噸積ノ中古船ガアル  
ト致シマシテ、是ハ年々償却ノ結果、帳簿  
價格ハ三十萬圓デアリマスケレドモ、保險  
價格ハ少ナクトモ百五十萬圓以上デアリマ  
ス、此ノ船ガ若シ沈没致シマシテ、保險金ヲ  
受取タ場合ニ於キマシテ、此ノ課稅ハド  
ウナルカト申シマスルト云フト、普通稅務  
署ハ此ノ百五十萬圓ノ保險金ヨリハ、此ノ  
「ブック・ヴァリュウ」タル三十萬圓ヲ控除致  
シマシタ残リノ百二十萬圓ヲ以チマシテ、  
ノ大部 分ト云フモノハ稅金トシテ徵收セラ  
レマシテ、餘ス所ハ僅カデアツテ、茲ニ於  
キマシテ代船ノ建造ト云フコトハ勿論、其  
ノ沈没セシ船ニ匹敵スペキ中古船ノ購入  
モ、到底思ヒモ寄ラナイ有様デアリマス、  
斯ウ云フコトデアリマシテ、代船ヲ獲得ス  
ルコトガ出來マセヌト云フコトニナレバ、  
其ノ營業ヲ縮小スルノ運命ヲ辿ルカ、殊  
ニ一隻船主ニ於キマシテハ、多年自分ノ愛  
著シタル所ノ業務ヲ放棄シテ、失業スルノ  
外ハナインデアリマス、斯クノ如キハ今日  
ノ海運政策ニ背反スルノ甚ダシキモノガア  
ルト思ヒマス、最近ノ我ガ國ノ……

○委員長(伯爵林博太郎君) モウ一分……  
○委員長(伯爵林博太郎君) モウ大分長ク  
ナツタカラ止メテ下サイ、大河内子爵  
○子爵大河内輝耕君 総理ガ御忙シイ所  
態、オイデ下サイマシテ誠ニ恐縮ニ存ジマ  
ス、速記ヲ止メテ戴キマス  
○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ止メマ  
ス

午後三時三十九分速記中止

午後三時五十五分速記開始

○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ始メマ  
ス、橋本君ノ御質問ハ直グ済ミマズカ  
○橋本辰二郎君 直グ済ミマスガ、今ノ問  
題ニ付テ總理大臣ニチヨット……  
○委員長(伯爵林博太郎君) 宜ウゴザイマ  
ス

○橋本辰二郎君 —— 實際ハ今日ノ此ノ新  
ナル稅制ト云フモノハ、殆ド世界ニ類ノナイ  
極度ニ達シテ居ルト云フコトハ、我が國ニ於  
キマシテ經濟界ノ權威者ノ集ツタル團體ノ  
發表スル所デアリマシテ、現ニ利益金處分  
ニ於キマシテモ、稅ガ四割アツテ、其ノ利益  
ハ一割二分ヨリナイト云フヤウナモノモア  
ルノデアリマシテ、ソレハ資料ヲ頂戴致シ  
マシタモノニ出テ居リマスガ、ソレハ間違  
ナイト思ヒマス、斯ウ云フ極端ナ例モアリ  
マスノデ、殆ド租稅ト致シマシテハ、是以  
上増徵スルト云フヤウナ……増徵デハアリ  
マセス、詰リ重ク課スルト云フコトハ、恐  
ラク是ハ不可能デハナイカ、詰リ現在ノモ

ノガ極度ニ達シテ居ルノデハナイカト思フ  
ハ、大藏省原案ハ行過ギタリト云フ評ガ世  
間ニ十分アルノデアリマス、私等モ多少サ  
ウ云フ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、此  
ノ上尙一層大藏省ノ人々頭ニ、稅ノ增收ニ  
付キマシテ拍車ヲ掛けルト云フコトニナリ  
マシテ、ヨリ以上是ヨリモ尙優ルヤウナ重  
イ稅ヲ課セラレルト云フヤウナ、一種ノ氣  
分ヲ醸釀スルト云フコトハ、最モ私ハ憂フ  
ベキコトデアルト思ヒマス、デ何トカ先程  
我々ガ承リマシタヤウナ事柄ハ、他ノ言葉  
ヲ以テ御表現ニナル方ガ宜クハナカラウカ  
ト私ハ思ヒマシテ、杞憂ノ餘リチヨット氣付  
キノ點ヲ申上ゲテ置キマス

除キタイト云フコトデスガ、至極御尤ダト  
思ヒマス、速記カラ除クコトニ御異議ゴザ  
イマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 御異議ナイト  
考ヘマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ委員長ニ御任せ  
致シマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 私ノ申上ゲタ  
コトダケラドノ部分カラ除クト云フコトハ  
ムツカシイト思ヒマスカラ、此ノ點ハーツ  
御一任ヲ願ヒタウゴザイマス、御異議ゴザ  
イマセヌカ

出席者左ノ如シ

委員長	伯爵林	博太郎君
副委員長	男爵松岡	均平君
委員	公爵島津	忠重君
	侯爵細川	護立君
	伯爵二荒	芳徳君
	子爵青木	信光君
	子爵大河内	輝耕君
	子爵八條	隆正君
	子爵高橋	是賢君
子爵三島	通陽君	
中川	健藏君	
男爵赤松	範一君	
男爵岩倉	道俱君	
男爵伊江	朝助君	
坂野鐵次郎君		

午後四時一分散會

國務大臣	三浦 新七君
政府委員	河田 烈君
内務省地方局長	西野 元君
大藏政務次官	土方 久微君
大藏省主計局長	澁澤 金藏君
大藏省主稅局長	今井 真平君
大藏省銀行局長	松本 磯野
大藏書記官	橋本辰二郎君
同 同	安宅 勝吉君
營繕管財局理事	野村 眞平君
松隈	彌吉君
池田	徳七君
勇人君	茂君
秀雄君	正義君
	光政君
	櫻内 幸雄君
	木村 恒二君
	谷口 大矢半次郎君
	入間野武雄君
	田中 豊君
	山田 義見君